

特257
601

351
63

華心粧
生花の巻



始



特 257
601



右乃平の

山崎

山崎の

山崎

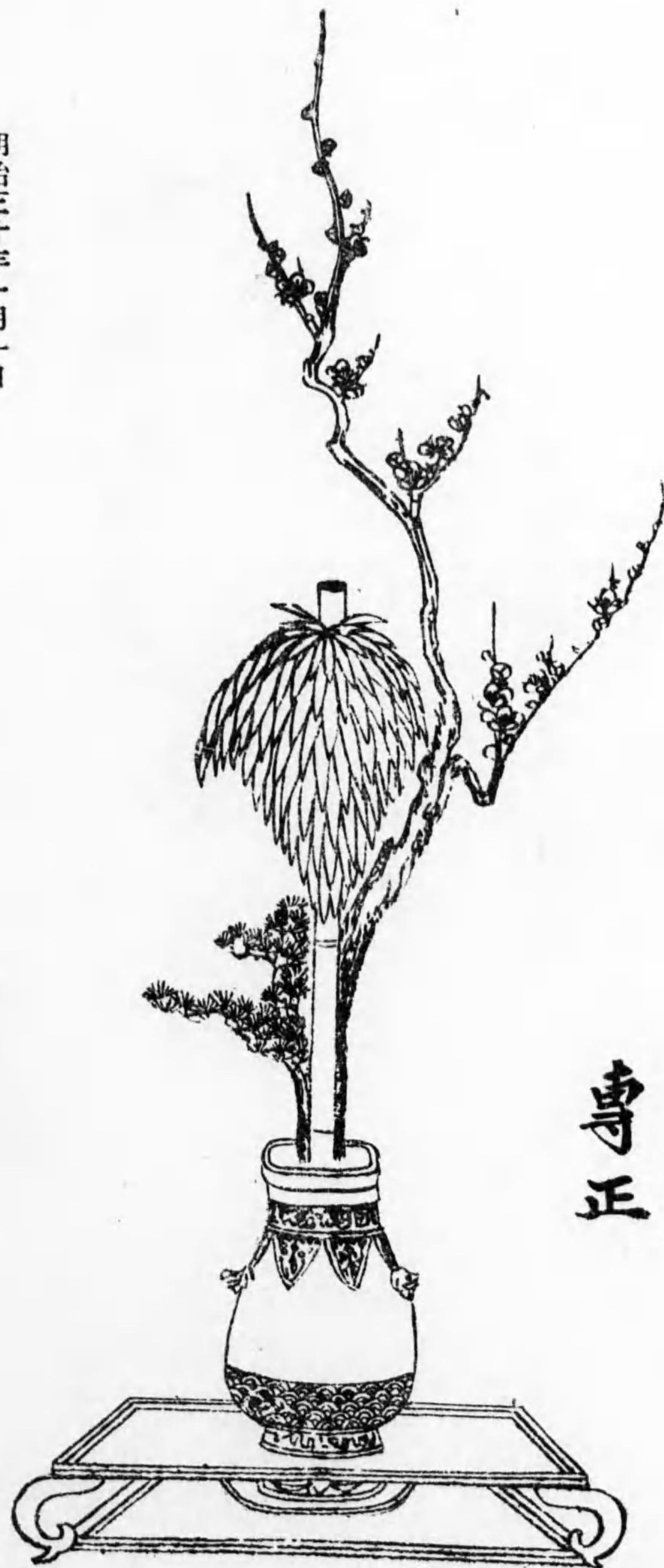
山崎





明治三十二年一月一日

專正



明治三十年一月一日

專正

明治二十八年一月一日



專正



家元四十二世

專正



明治三十六年四月一日



きん

明治二十九年六月三十日池坊元祖
大臣小野妹子千二百五拾年祭供華
をかたまの木



専正

明治三十四年七月



專正

明治二十九年冬挿珊瑚
セリヤウ



女心

明治三十四年八月盆會
大臣小野妹子始代々畫像前供花

白花木槿



專正

明治三十三年八月朝鮮蕪

花菱梭桐根遠州濱似從藏田利之郎贈品



志

明治三十五年六月以
令鳴竹自然曲幹茂挿



志

明治三十二年七月



專正

明治二十八年五月一日
桓武天皇祭獻花
天女花



專正

安政四年歲在丁巳
秋八月生之貴船菊



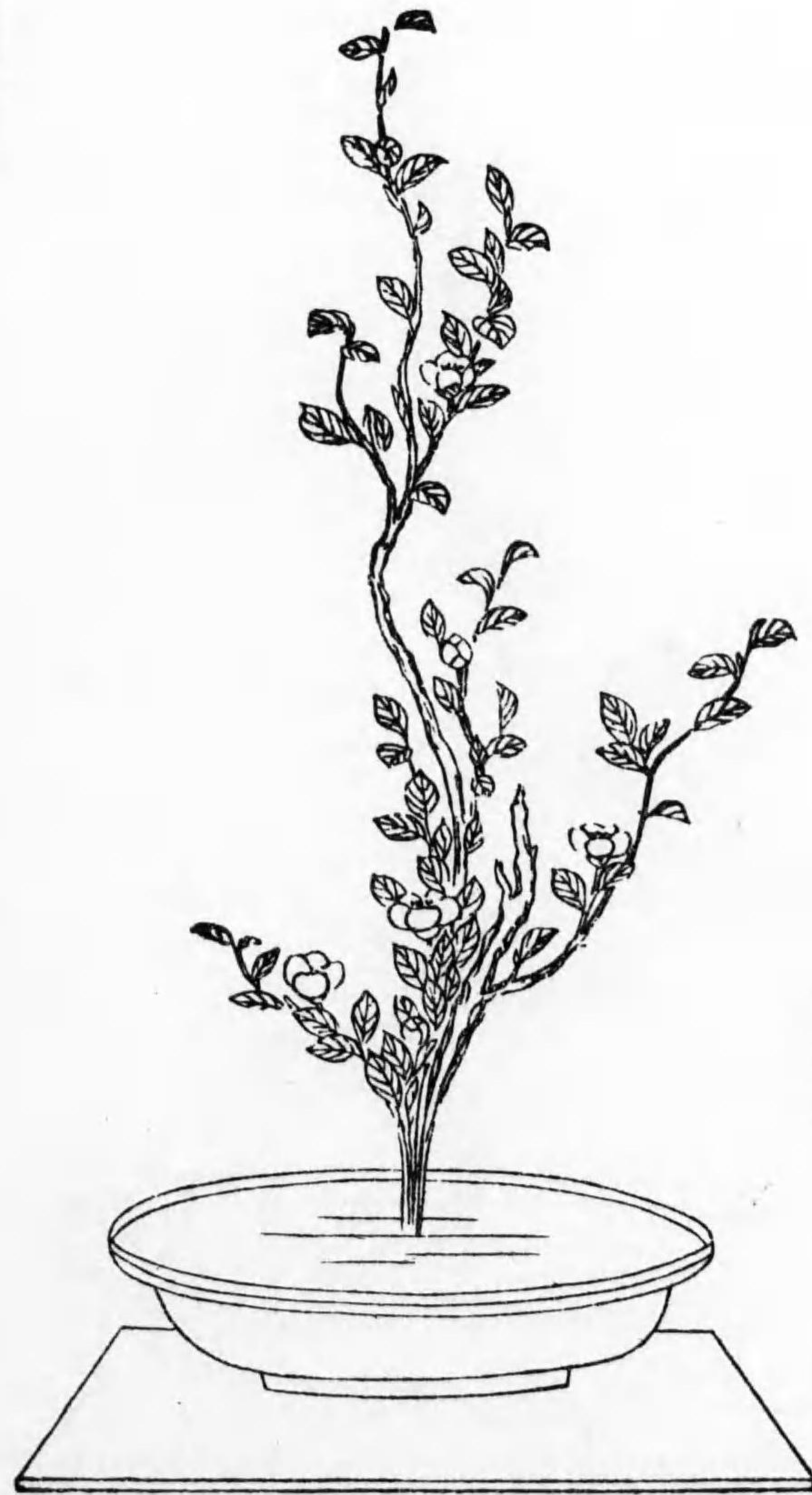
專正

明治十五年五月卯ノ花



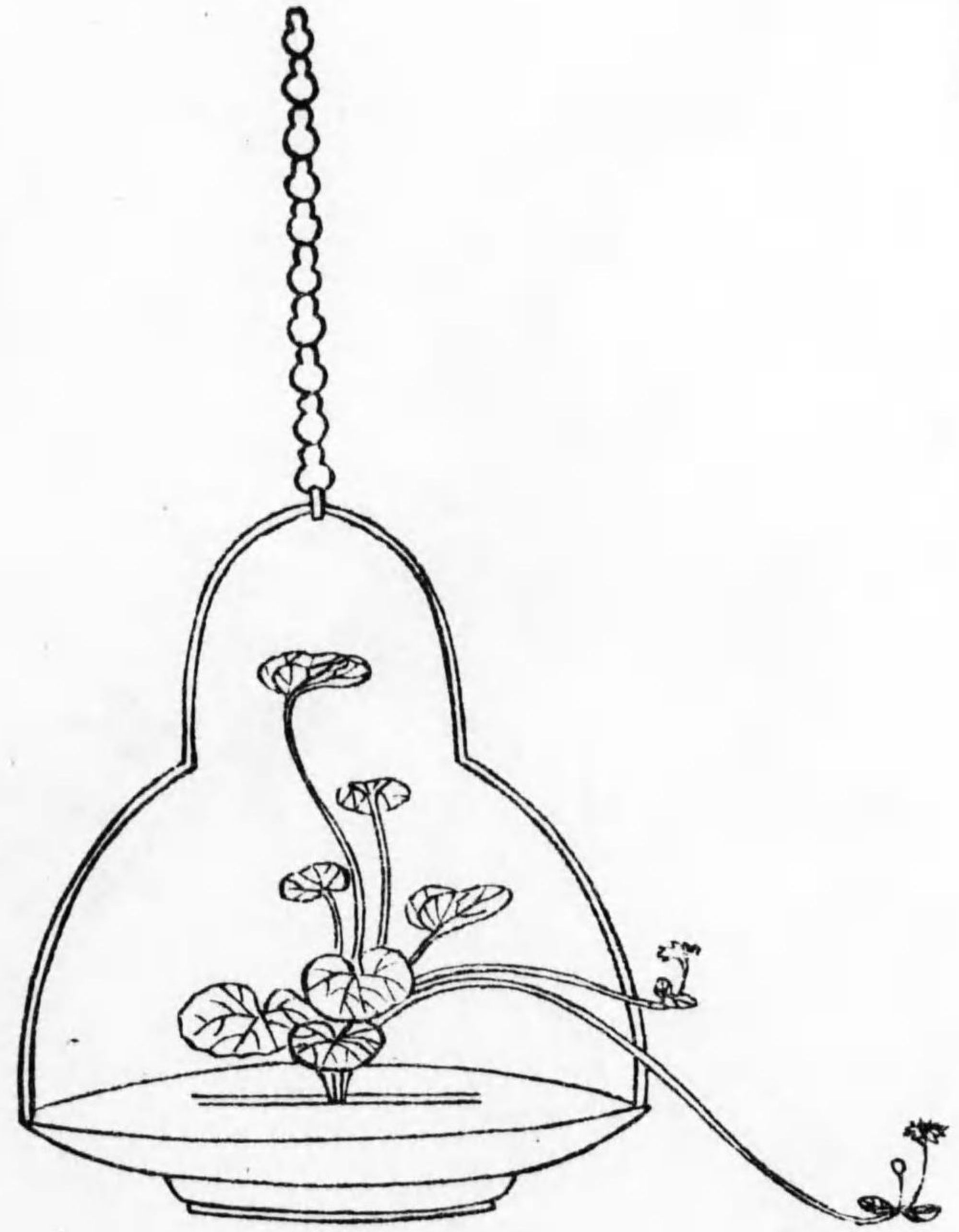
專正

ナツツバキ
娑羅雙樹



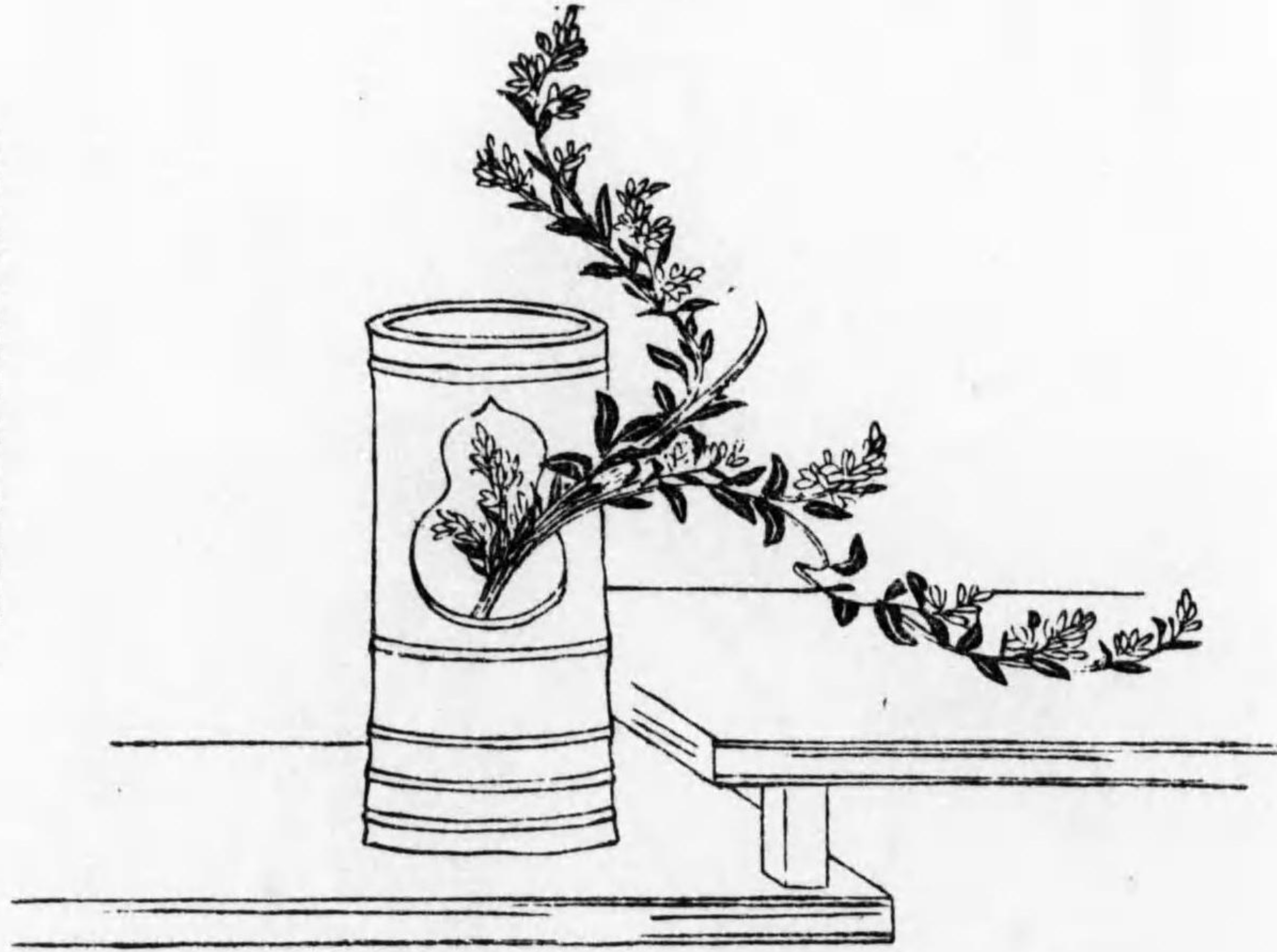
專正

明治三年午四月
猿猴草



專正

明治二十四卯年卯月挿卵花



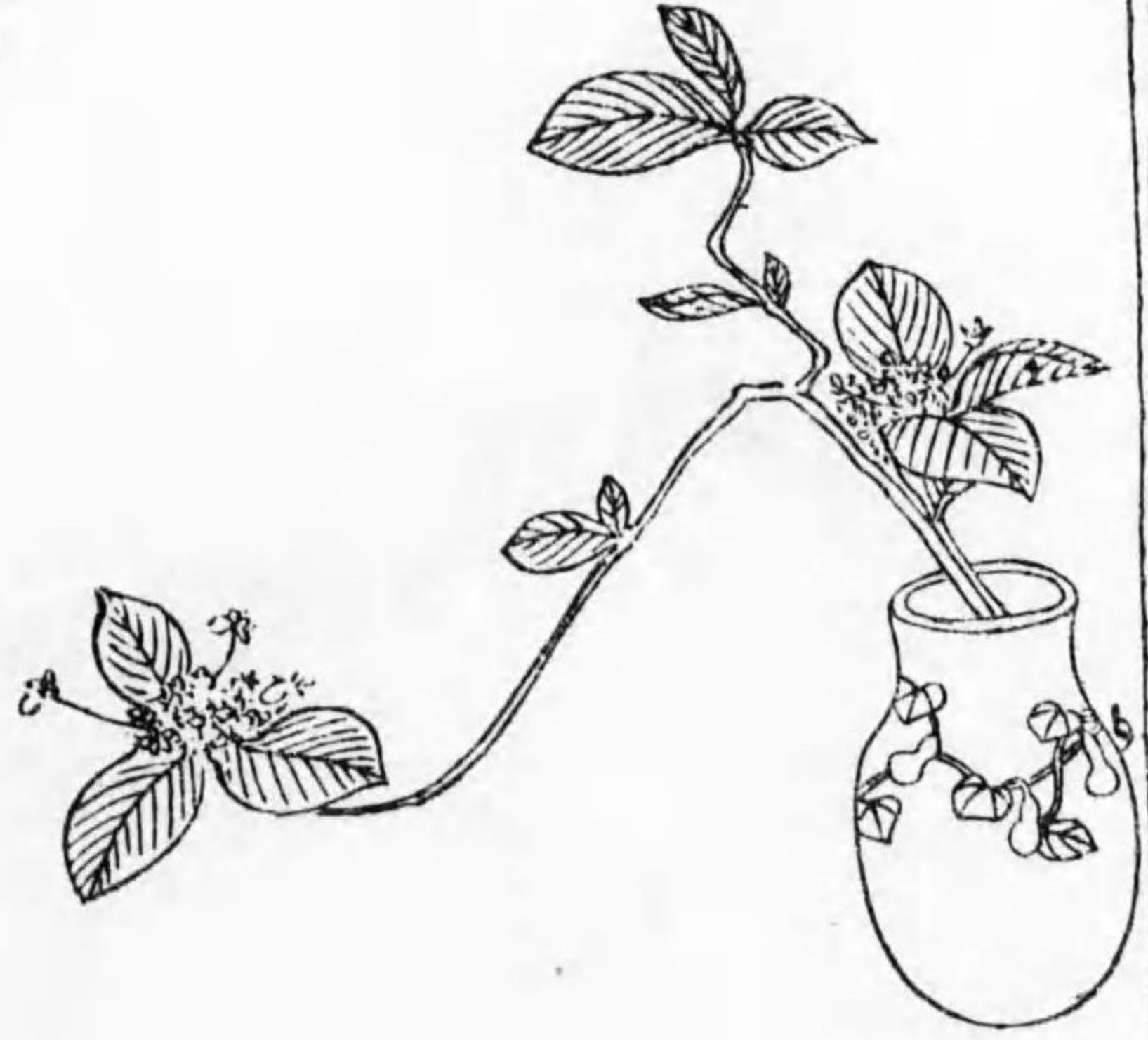
志

明治十五年六月朝生之



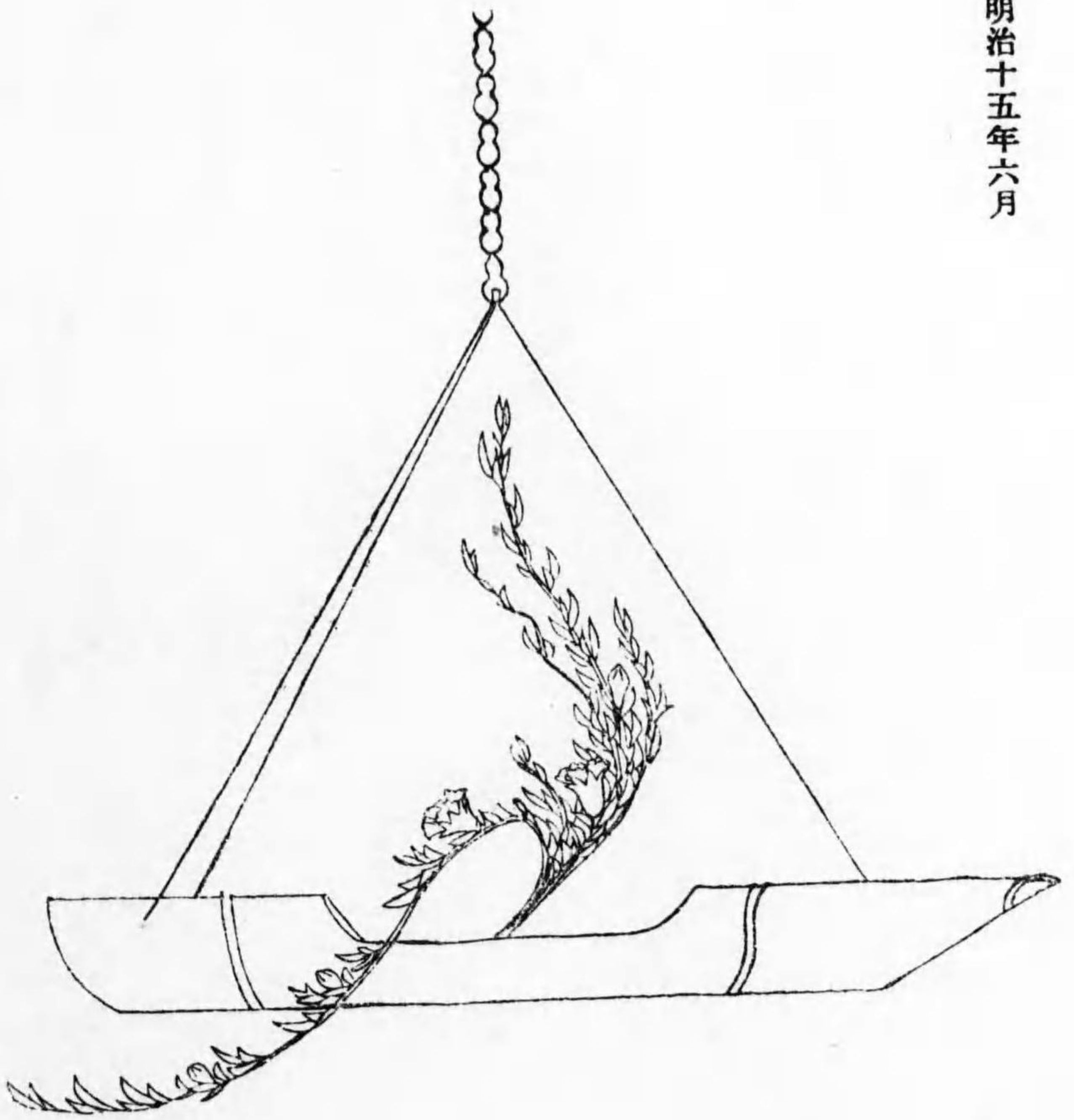
專正

明治三十二年七月一日



專正

明治十五年六月



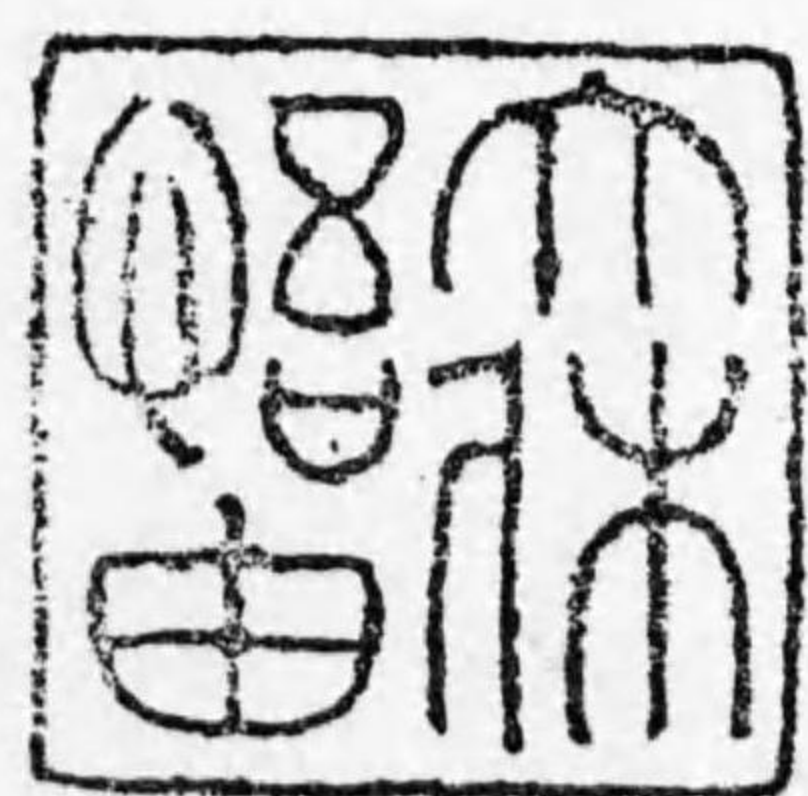
守正



看其親生言
也存於和家
色色所

有松尾居士為

求平性由袖



一色一香無非中

道對斯天真塵

慮可揭

為松庵先生詩

文學博士大津深文堂



在道教曾序。

有_レ情_二與_レ有_レ情_一相_レ對_レ而_レ以_レ意_レ精_レ靜
之_レ極。有_レ情_二更_レ入_レ無_レ情_一却_レ適_二
有_レ情_二此_レ間_レ自_レ有_レ陰_レ陽_一之_レ生_レ動_一焉。
此_レ之_レ謂_レ立_レ生_レ在_レ之_レ秘_レ訣_一而_レ哲_レ學
悟_レ心_レ之_レ玄_レ理_一也。若_レ靜_レ性_レ真_レ心_レ意_一
他_レ念_レ則_レ閑_レ適_レ會_レ意_レ之_レ處_一。瓶_レ與_レ我

同物也。花与我同體也。而描出
天地自然子愛美他之形象甲來
焉。故其枝葉花實之凡姿精神
更ニ如レ瓦ニ雨一露一之潤生萌之勢其
觀レ在ル尋床尺瓶之中ニ宛モ似ス在ル高
山曠野之間ニ豈ス非ス巧智之機遇ニ
乎。木之自然ニ而テ堯ニ至于レ此乎哉。

余嘗誦此言久矣。而未釋然焉。
聚雲軒玄庵叟者余先覺之友
也。夙唱此玄理曰。夫花道者順
天理明人道在。識脩身齊家平
天下之基礎甲豈非敬神愛國之
法。制乎余於是。如釋然矣。欣然
而為之序云。

明治甲午春一月家元門弟
甫山人津田好題于
江北子安之隱棲春錦山房



武藏松庵
松の庵
松の庵

子安

春錦山房

松の庵

子安

子安

子安

夫花道ハ精一ノ元氣ヲ以テ千萬無量ノ天倪ヲ顯出スル無形ノ眞理ヲ悟了セザレハ只タ人爲的ノ形象而已ニシテ豈ニ生萌ノ一氣無キニ至ノ可ケン乎昔年聖德太子此意ヲ覺了セラレ天人地ノ三才ヲ象チトリ陰陽ニ位シ花ト我ト同體ニシテ萬法一如ナル哲理ヲシテ池坊祖先妹子大臣ニ傳ノ是レ乃チ花道ノ以テ起ル所ナリ矣故ニ花法ノ教ヲ正フシテ唯出生ニ隨ヒ其草木ト眞心精一ニシテ松ニ對スルトキハ我レ乃チ松ナリ梅ニ向ハ我レ乃チ梅ナリト我レ花ト同體ナレハ終ニ天地自然千變萬化ノ形象ヲ顯出スルニ至ル宜ナル哉悟道ノ要術タリ衛生ノ心法タリ是レ豈ニ須叟モカクベケンヤ况ヤ諸派ノ風習陋俗ニ流レ各異ナルアリト雖モ草木ニ國風無キ乎故ニ唯心術ヲ以テ天地自然ノ元氣ヲ保ツトキハ遂ニ精一ノ氣顯出シテ氣韻風韻ノ奇趣ハ瓶中ニ蟠根セルカ如クト云爾

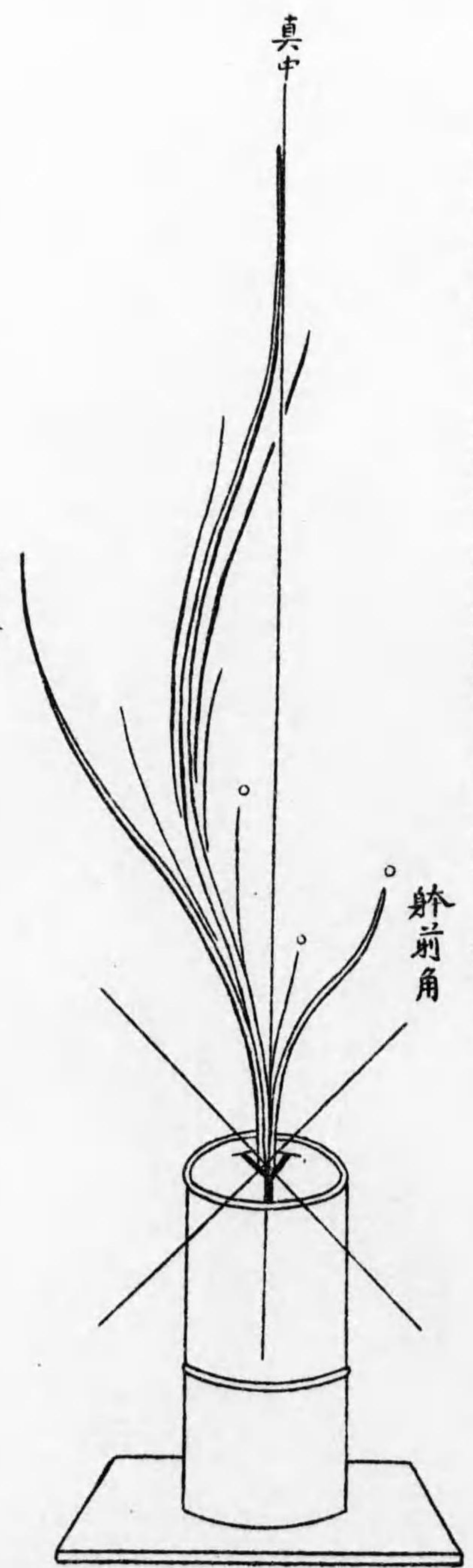
花道ハ精一ノ元氣ヲ以テ千萬無量ノ天倪ヲ顯出スル無形ノ眞理ヲ悟了セザレハ只タ人爲的ノ形象而已ニシテ豈ニ生萌ノ一氣無キニ至ノ可ケン乎昔年聖德太子此意ヲ覺了セラレ天人地ノ三才ヲ象チトリ陰陽ニ位シ花ト我ト同體ニシテ萬法一如ナル哲理ヲシテ池坊祖先妹子大臣ニ傳ノ是レ乃チ花道ノ以テ起ル所ナリ矣故ニ花法ノ教ヲ正フシテ唯出生ニ隨ヒ其草木ト眞心精一ニシテ松ニ對スルトキハ我レ乃チ松ナリ梅ニ向ハ我レ乃チ梅ナリト我レ花ト同體ナレハ終ニ天地自然千變萬化ノ形象ヲ顯出スルニ至ル宜ナル哉悟道ノ要術タリ衛生ノ心法タリ是レ豈ニ須叟モカクベケンヤ况ヤ諸派ノ風習陋俗ニ流レ各異ナルアリト雖モ草木ニ國風無キ乎故ニ唯心術ヲ以テ天地自然ノ元氣ヲ保ツトキハ遂ニ精一ノ氣顯出シテ氣韻風韻ノ奇趣ハ瓶中ニ蟠根セルカ如クト云爾

松尾茂



稽古始ノ第一心得ノ圖式

右花左花トモ此ノ如シ眞副躰ノ三ツノ外ハ皆アシライナリ第一嫌フコトハ副ノ下躰ノ下エ枝ノ出ル事又副躰ヨリ外エ枝ノ出張リタル事又十文字胴切窓丈ケクラベ等何レモ嫌フナリ



花法ハ右ノ如クナリ雖モ風情ハ其草木ノ出生ニヨリ千變萬化セリ又花無キ草木ニハ必ス花有物ヲ躰ニ用ユヘシ躰ニ花物ヲ用ユルトキハ右〇印ノ分ヲ以テ形チスルナリ餘ハ其草木ニ臨ミ傳書ニ依リ師ニツキ能々聞キ學フ可シ

家元花務課
東京出張所開會ニ生

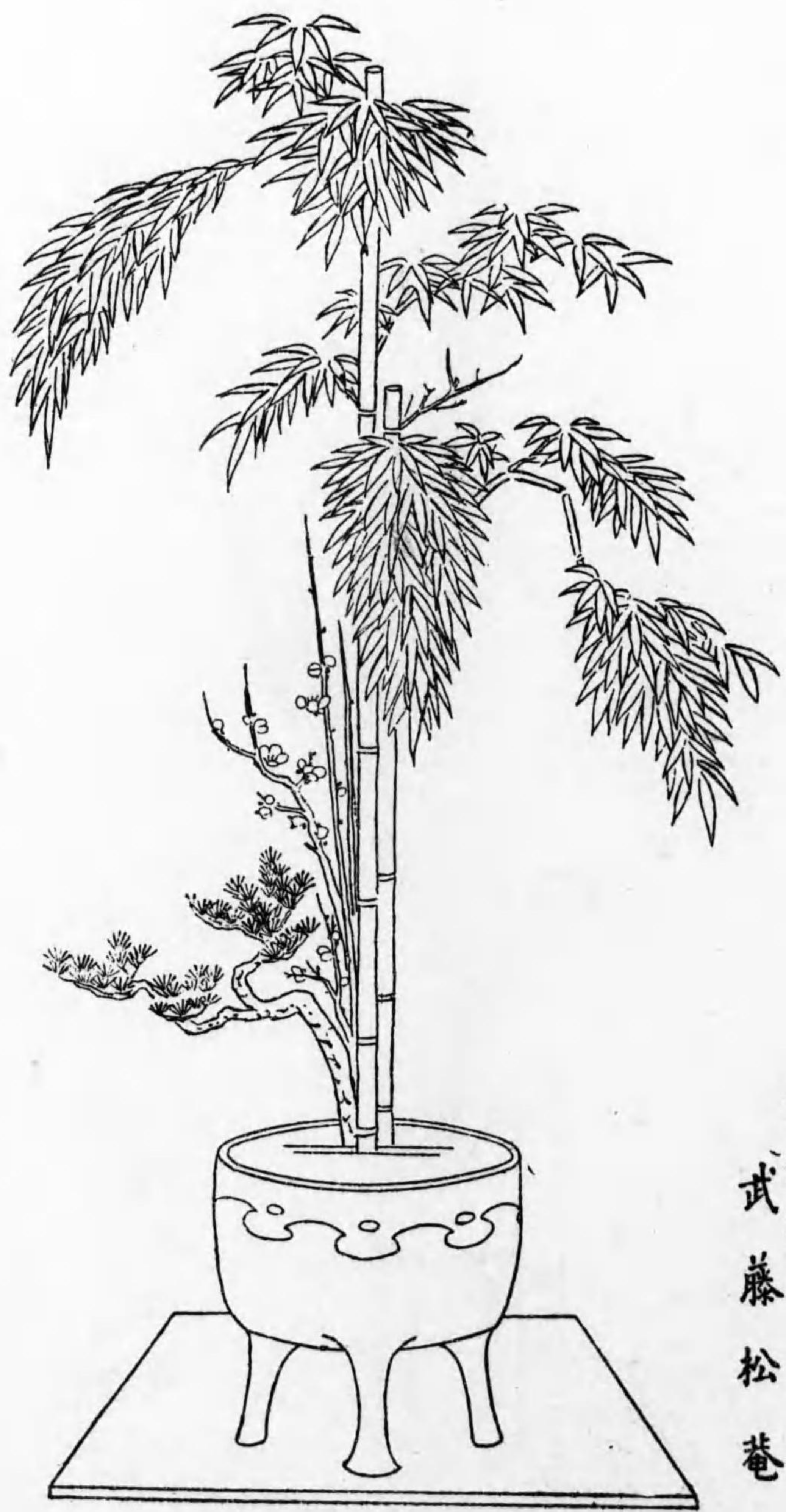


家元内 武藤松菴

明治二十五年一月
祇園出張所
御代花

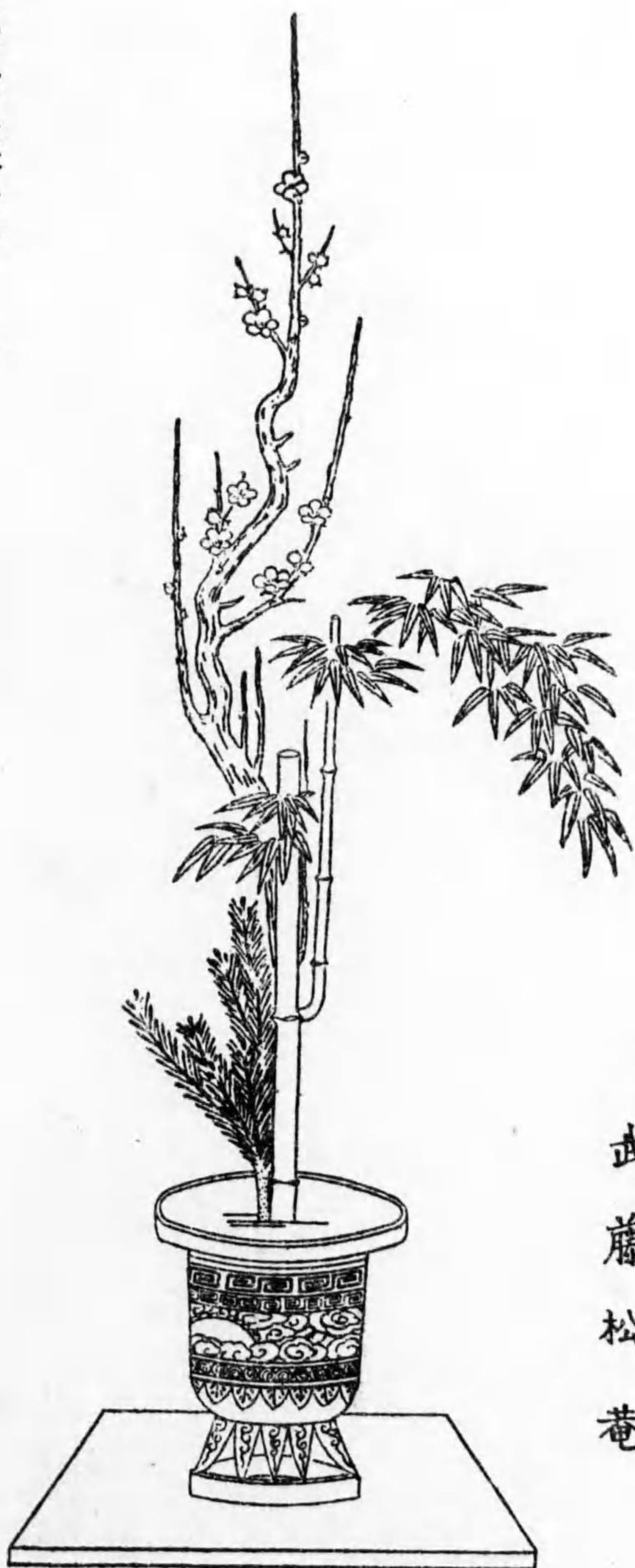


家元内 武藤松菴



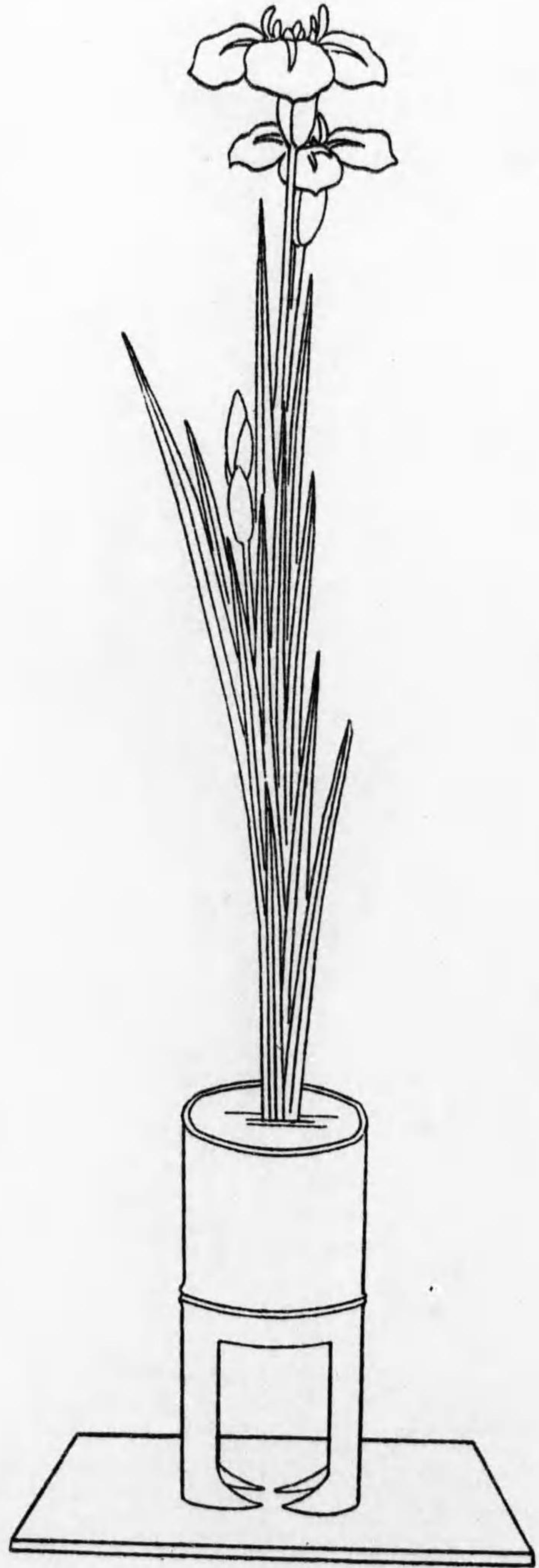
家元内
武藤松菴

明治二十六年一月



家元内
武藤松菴

菖蒲



家元内
武藤松菴

五

家元内
武藤松菴

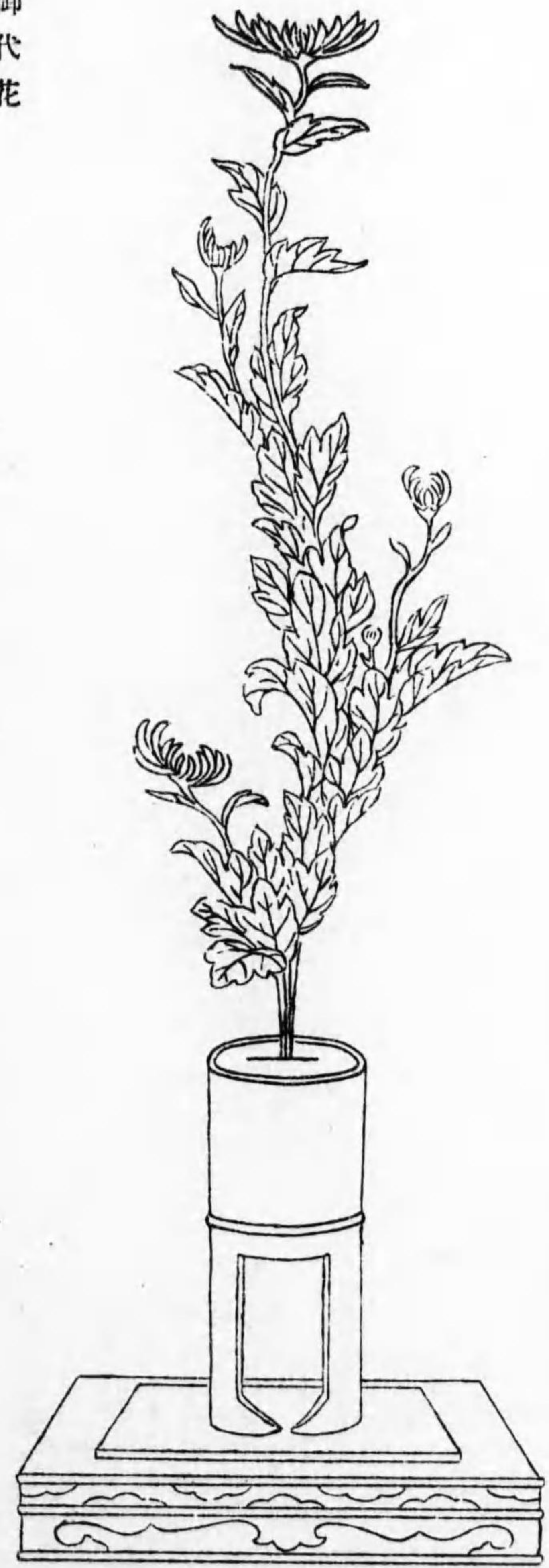


六

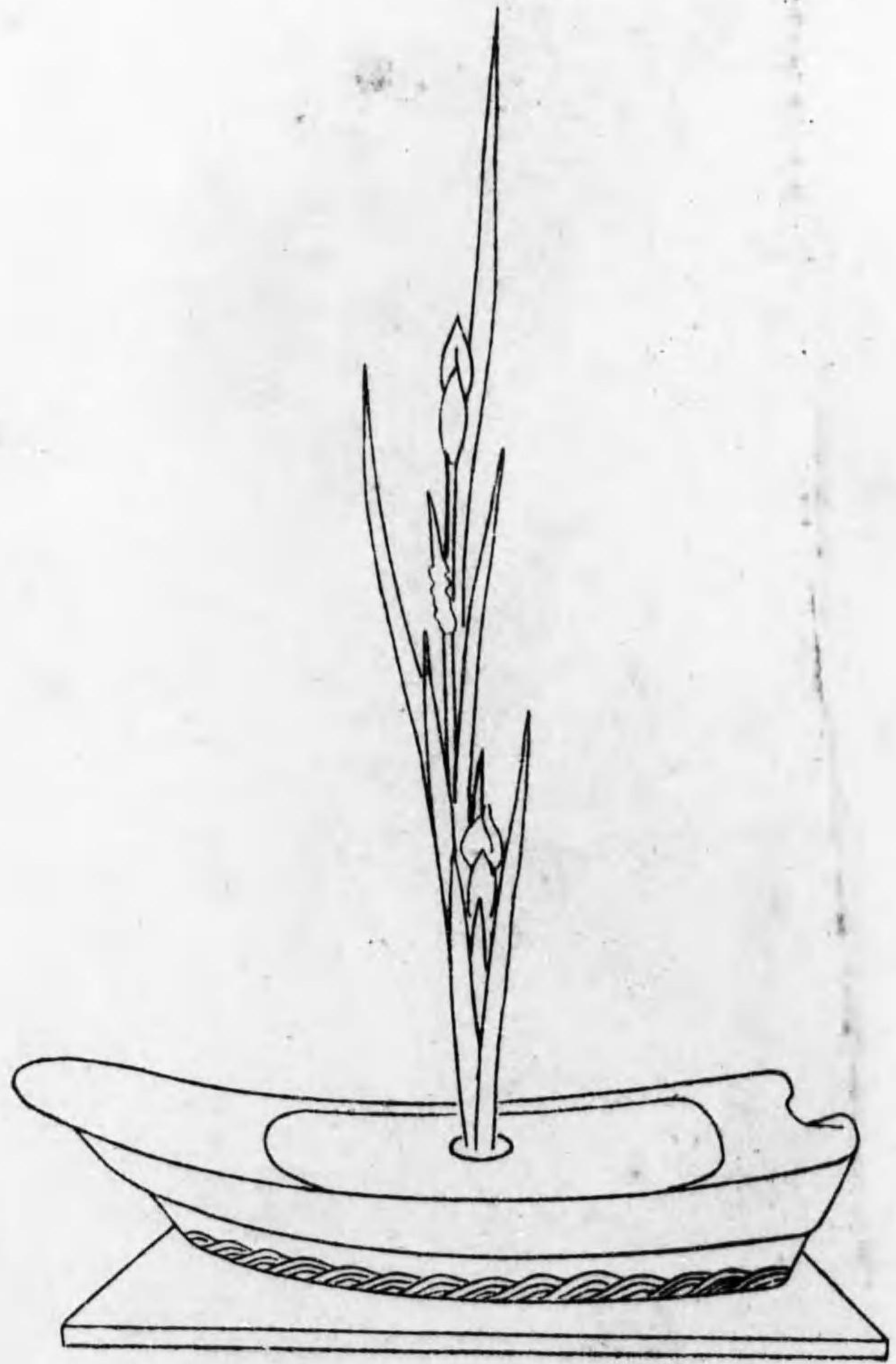
二十六年
初冬生之



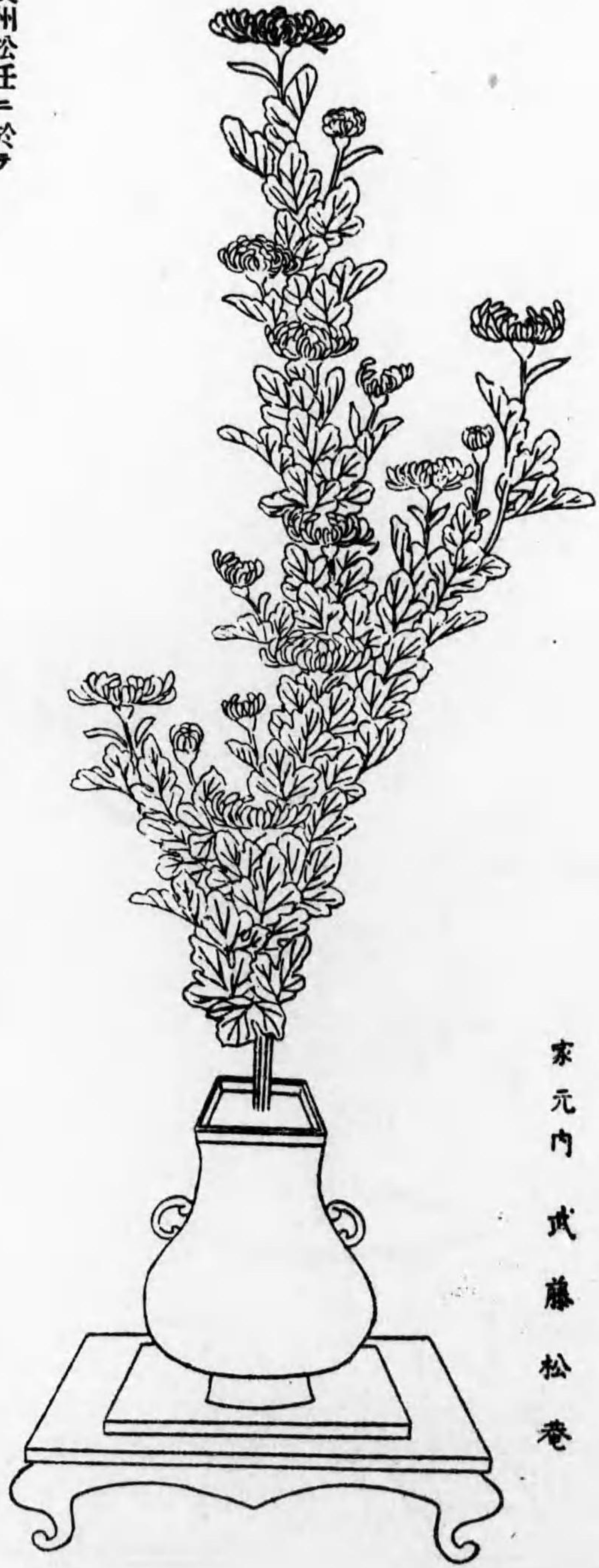
御代花



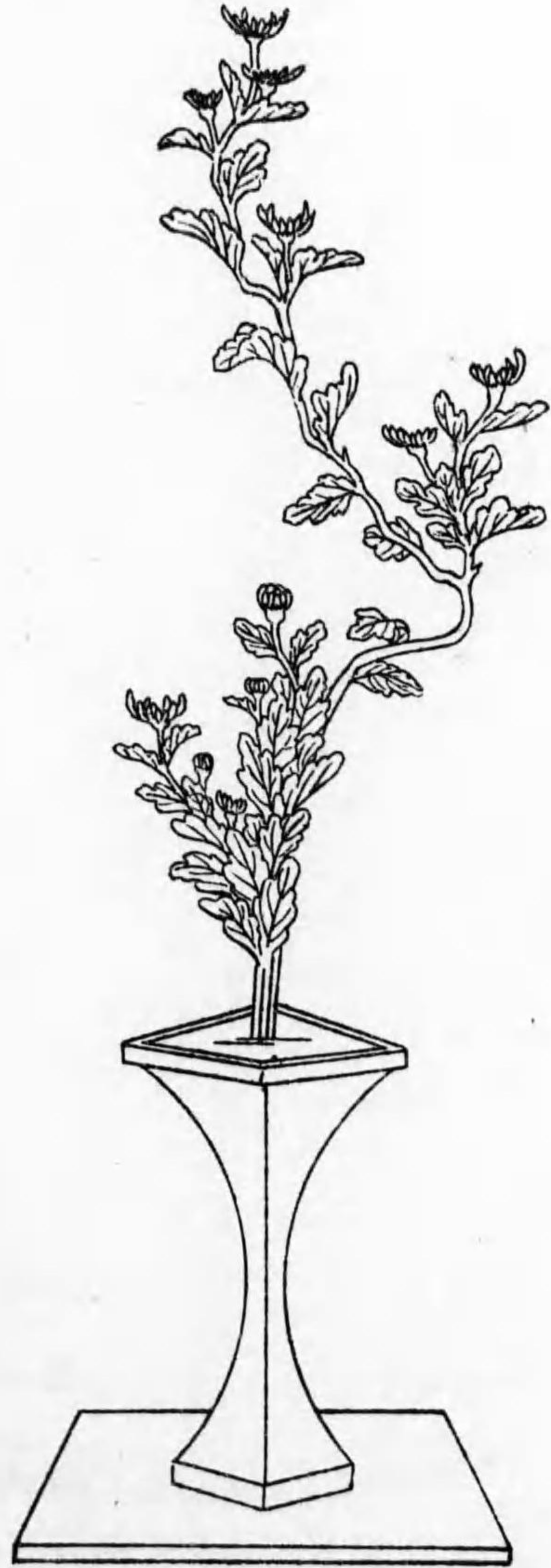
家元内
武藤松菴



賀州松任ニ於テ
御代花



家元内 武藤松卷



家
御元
ク代
ッ花
ン草



家元内
武藤松菴

家元内
武藤松菴



家元
御代花





家元
武内
藤松
庵

レンキヤウ



佐渡國ニ於テ
御代花



家元内
武藤松菴

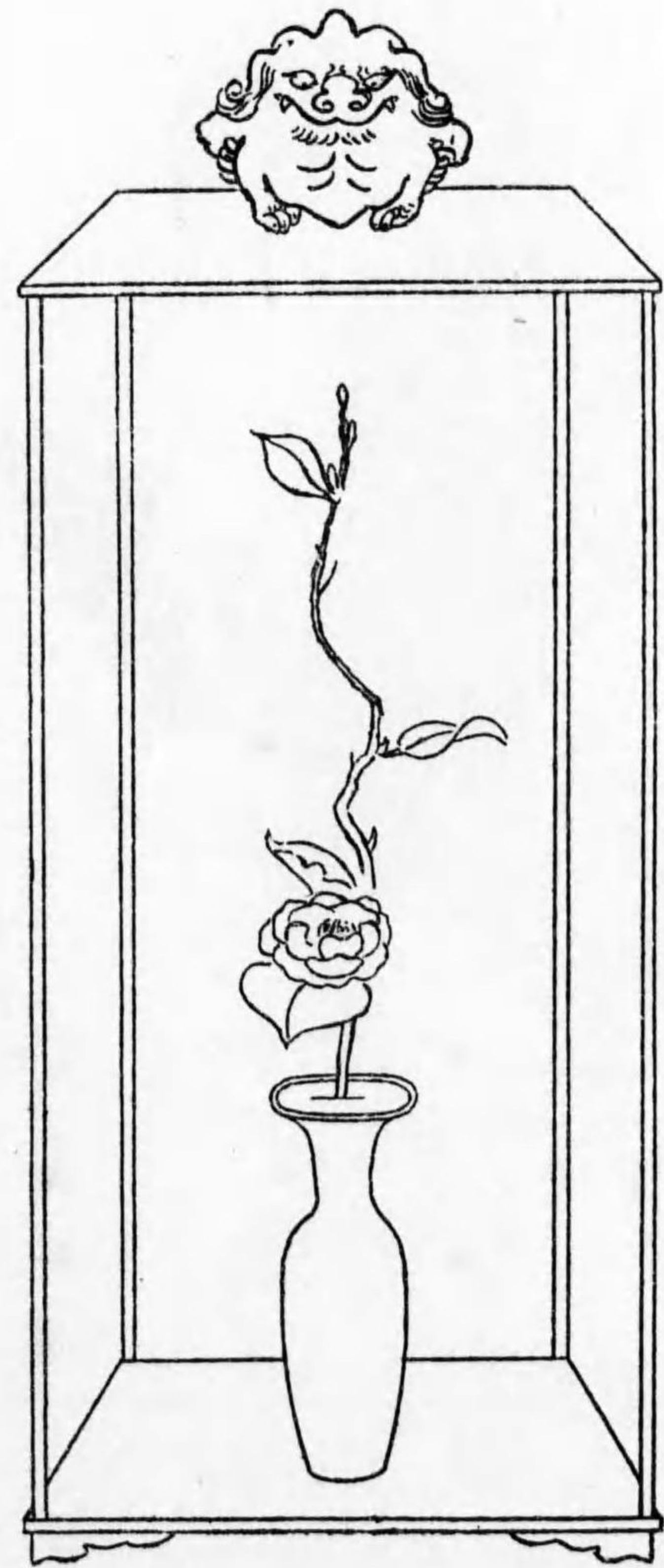
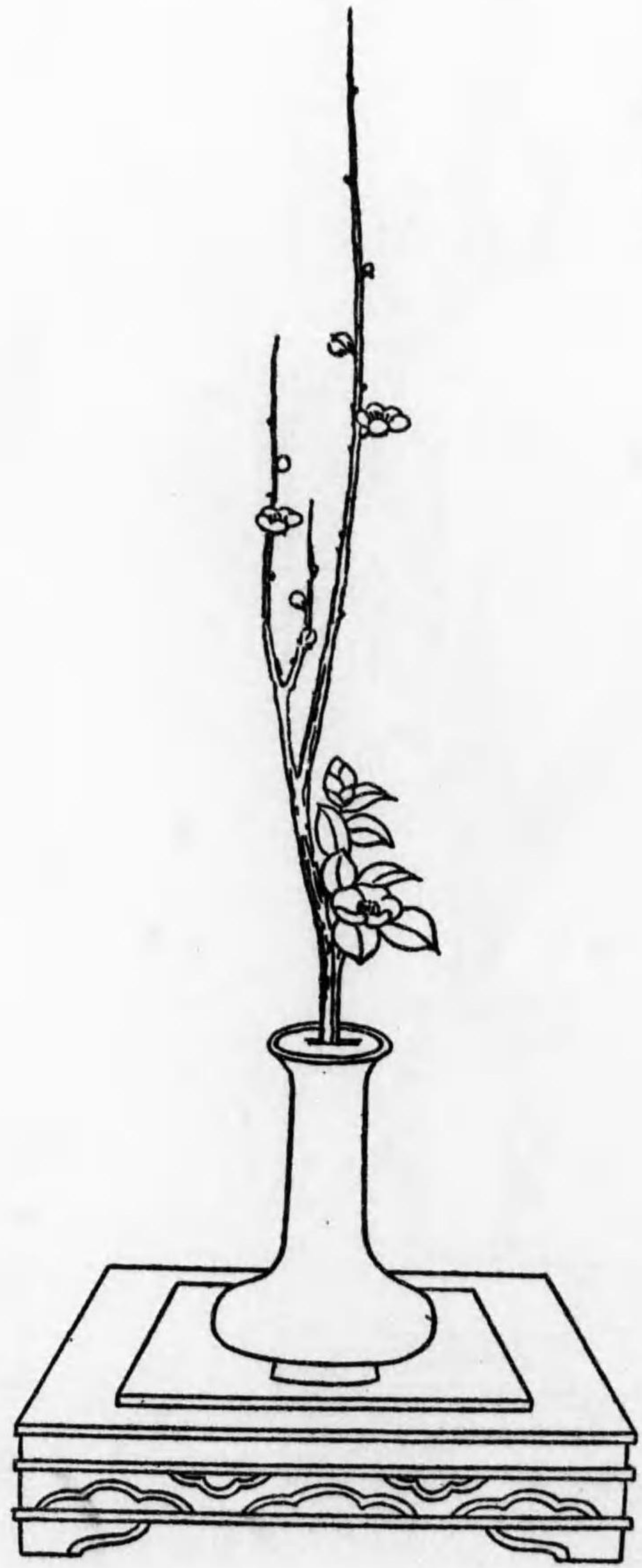




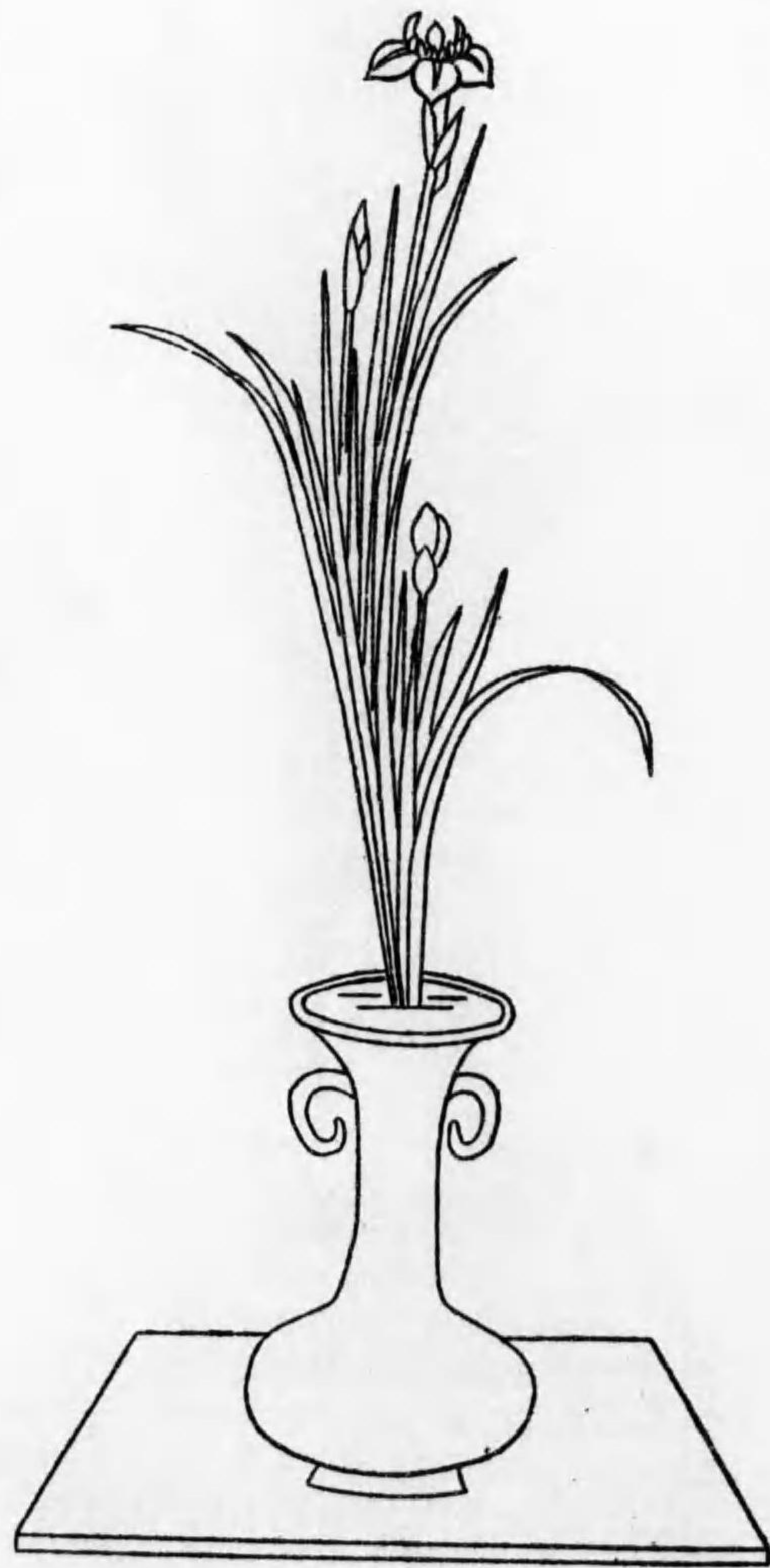
宋元内
武藤松菴



家
御元
代
花



家元内
武藤松
菴



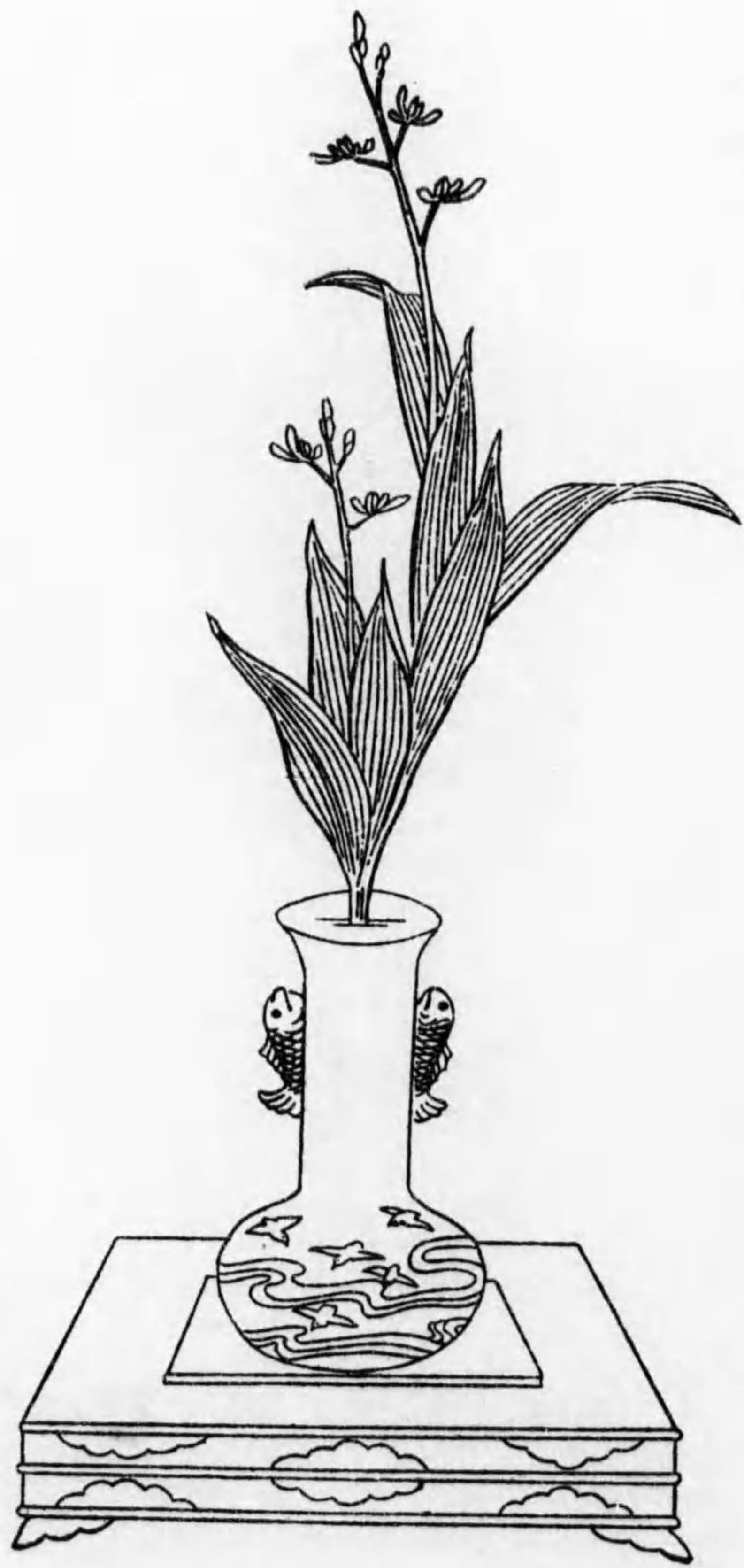
花アヤメ

御代花

根バムキ



家元内
武藤松菴



家元
御代花

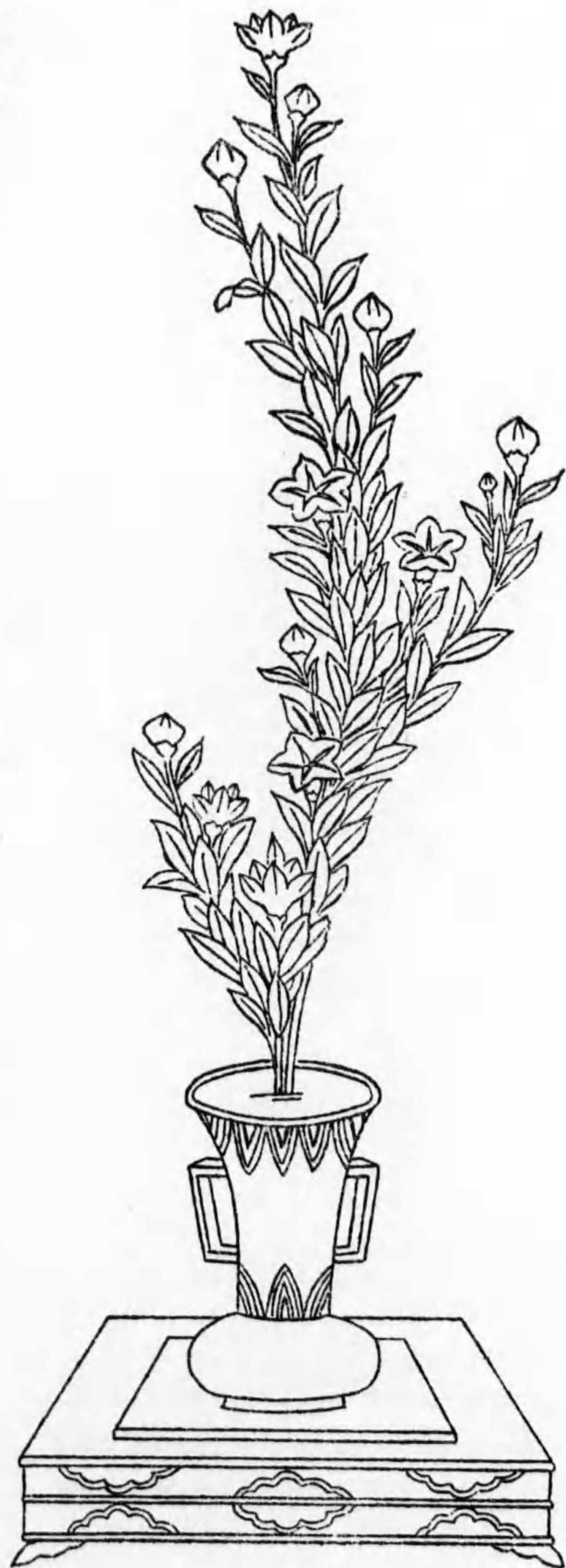
家元
御代花



躰笹リンドウ



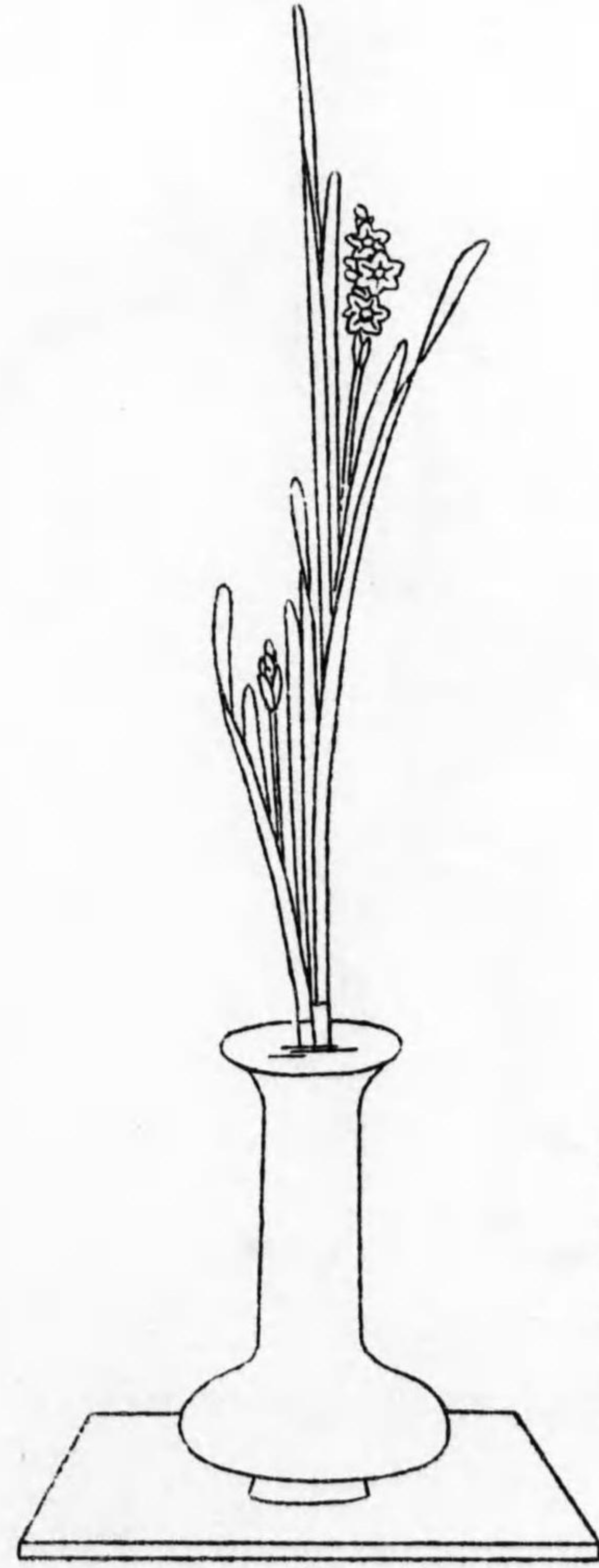
家元御代花



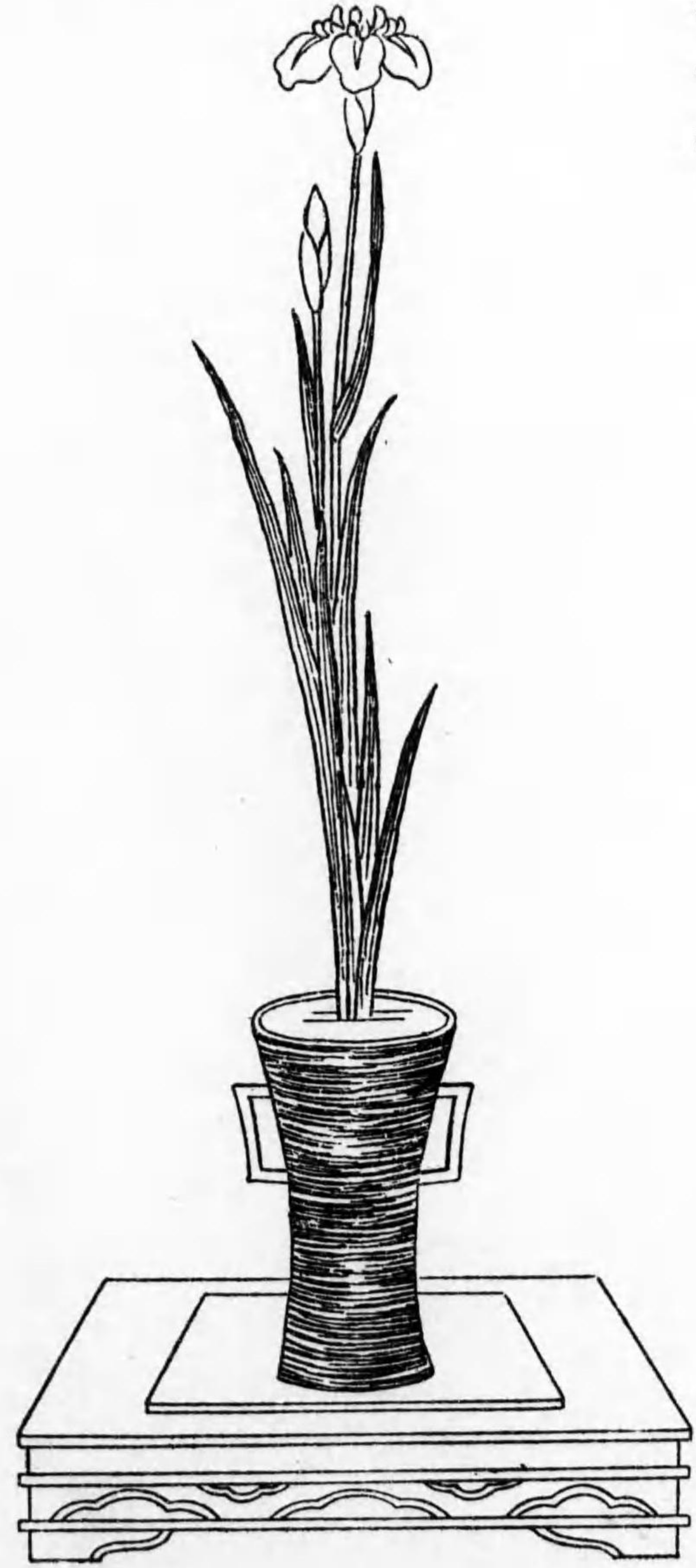
家元内
武藤松菴



家元内
武藤松菴



家元内
武藤松庵



御代花

家元
御代花



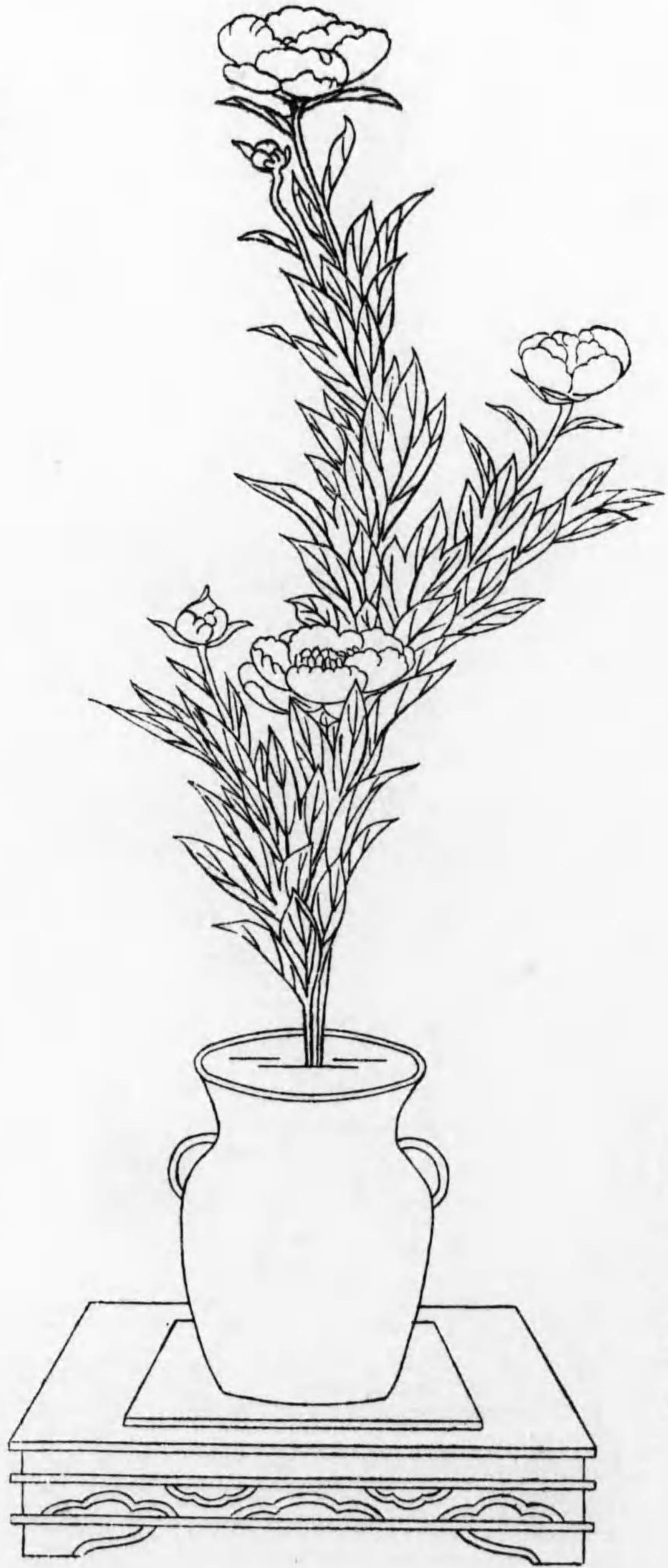
家元内
武藤松菴

石南花



家元内
武藤松菴

家元
御代花



家元内
武藤松庵

イチハツ



家元
御代花

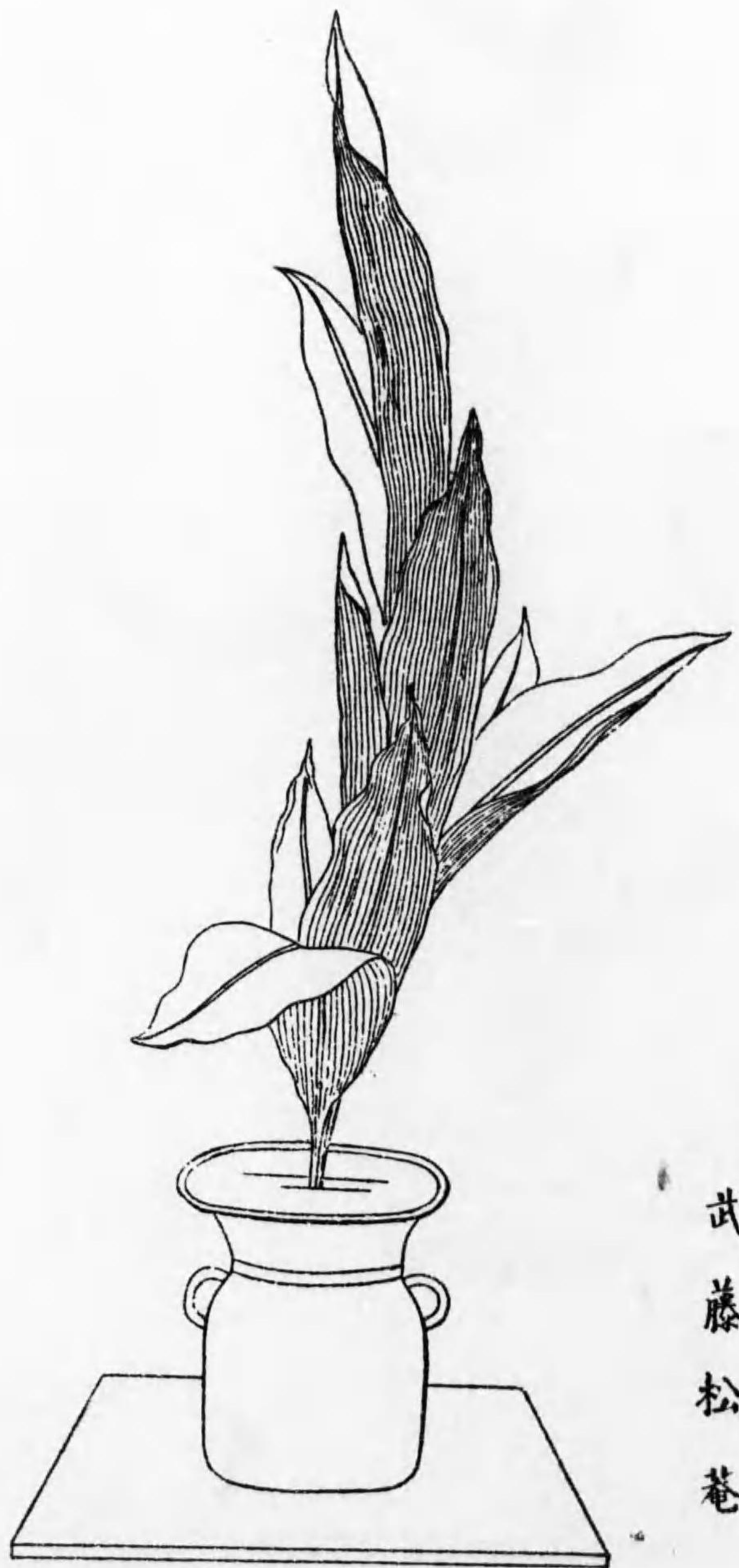


家元内
武藤松菴

御代花

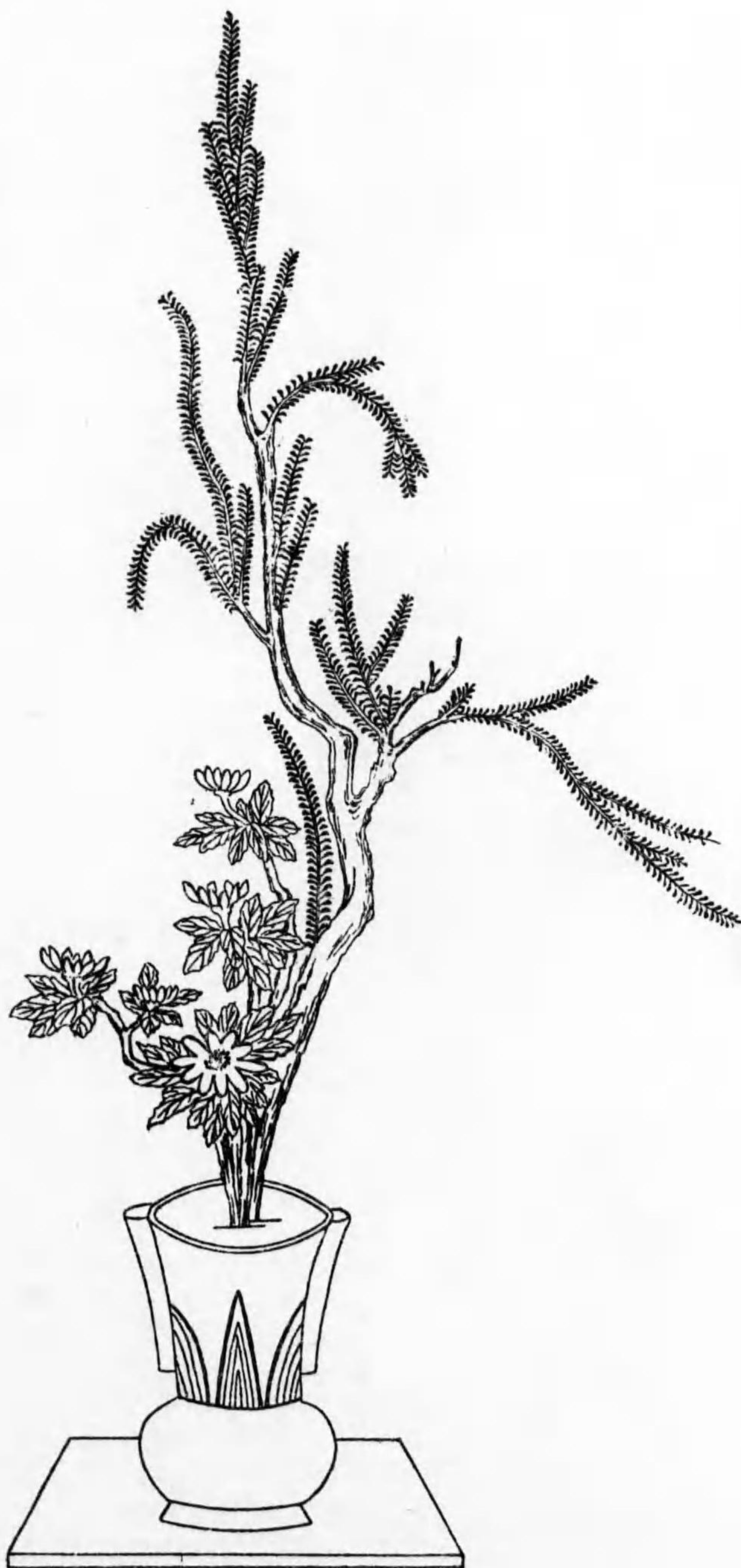
ダンドク





家元内
武藤松菴

躰濱菊

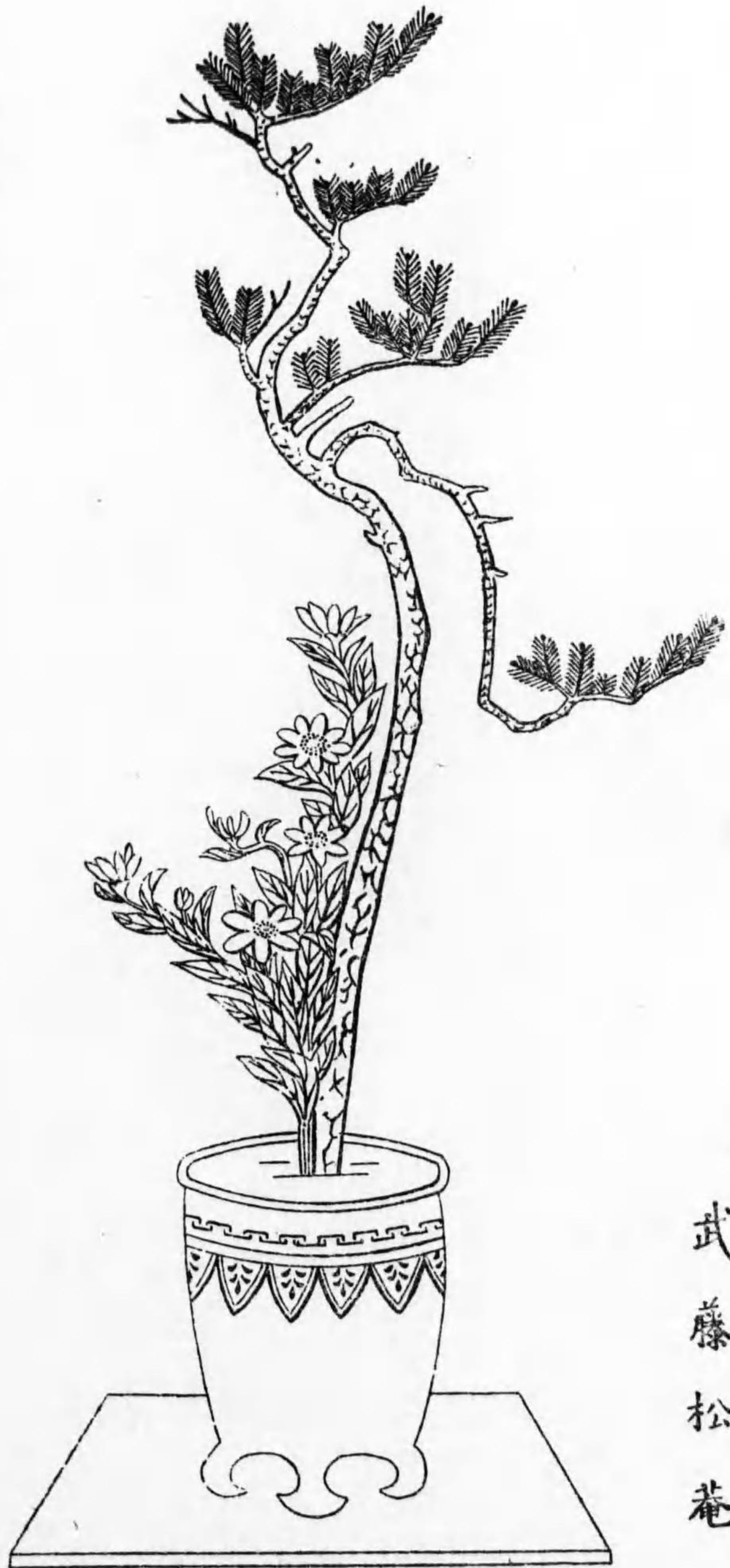


孔雀ヒラフキ



家元内
武藤松菴

躰唐ガンビ



家元内
武藤松菴

御代花
秋海棠



家元
御代花



家元内
藤松
苍

家元
御代花

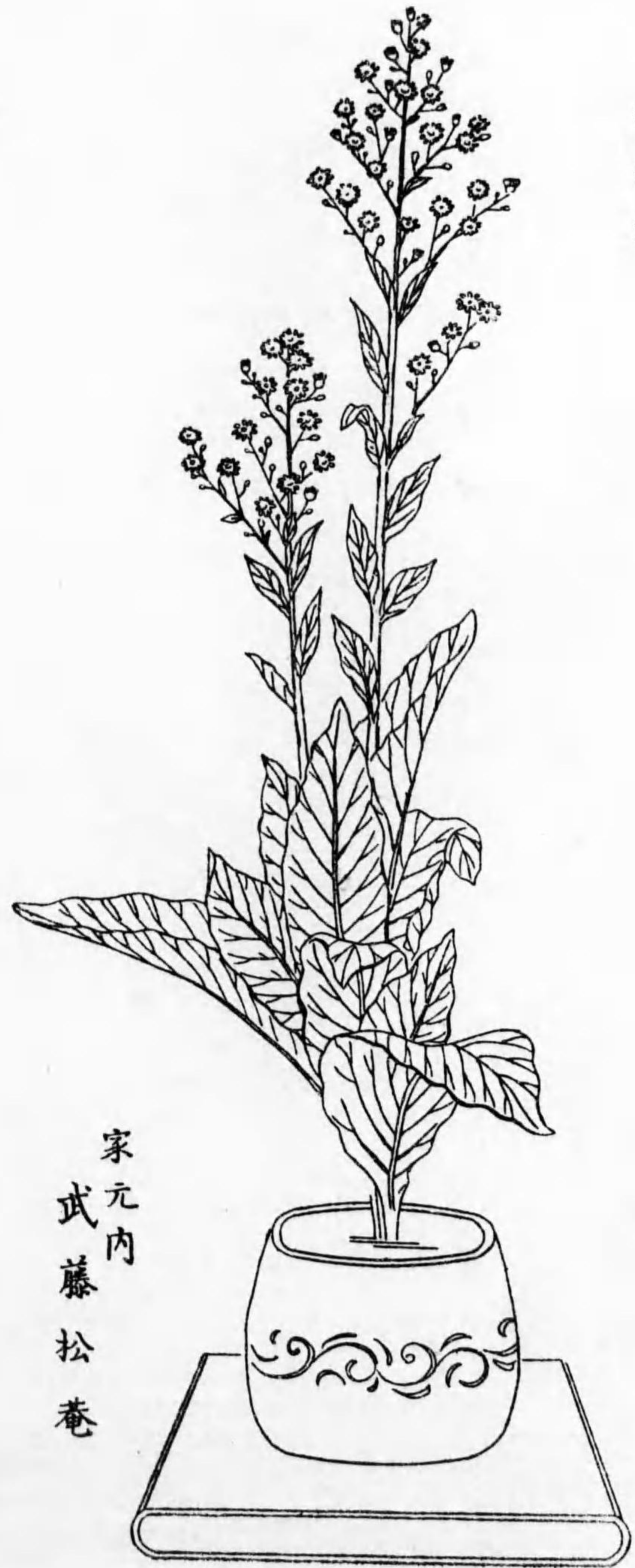


家元内
武藤松菴



家元内
武藤松菴

家元
御代花



家元内
武藤松菴

キリシマツ、ジ
ナタネ





家元内
武藤松菴

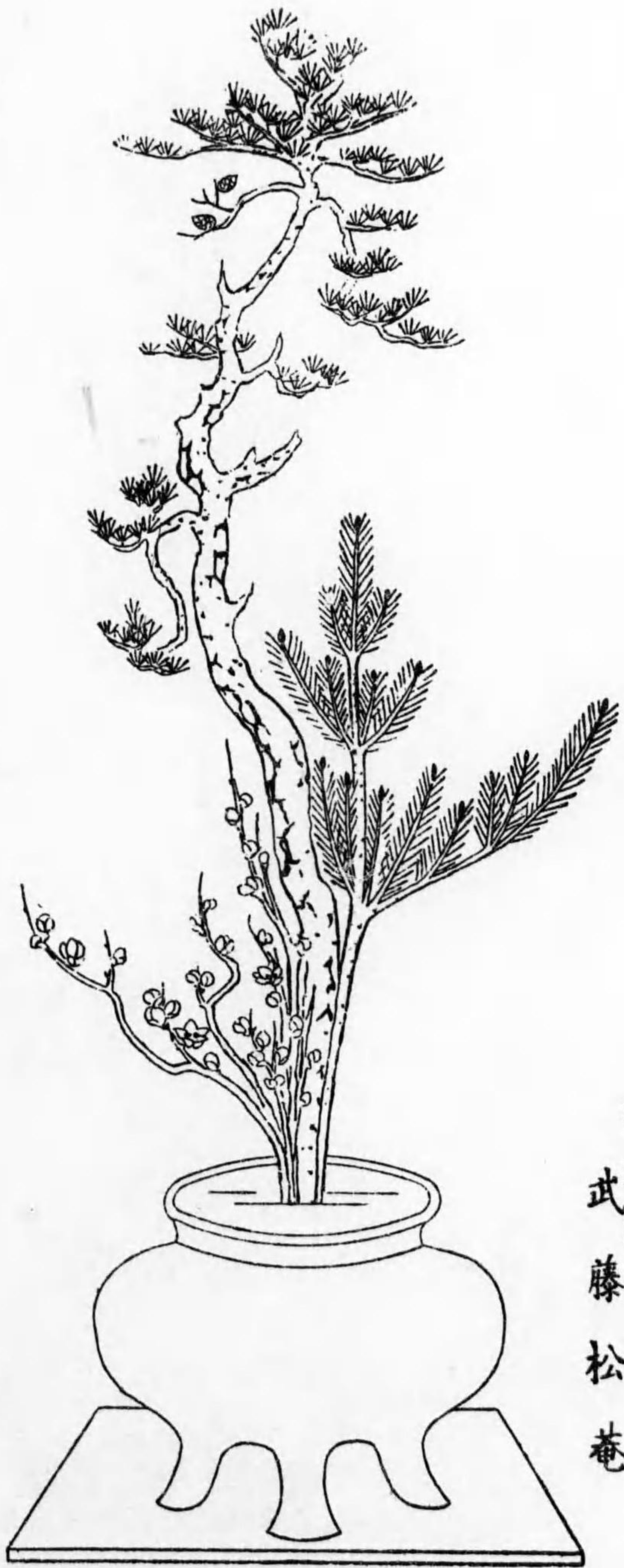


家元内
武藤松菴



家元内
武藤松菴

躰臘梅



家元内
武藤松菴



シヤガ



根ノ花菖蒲

明治二十二年十一月
家元七夕會生
水仙長サ三尺



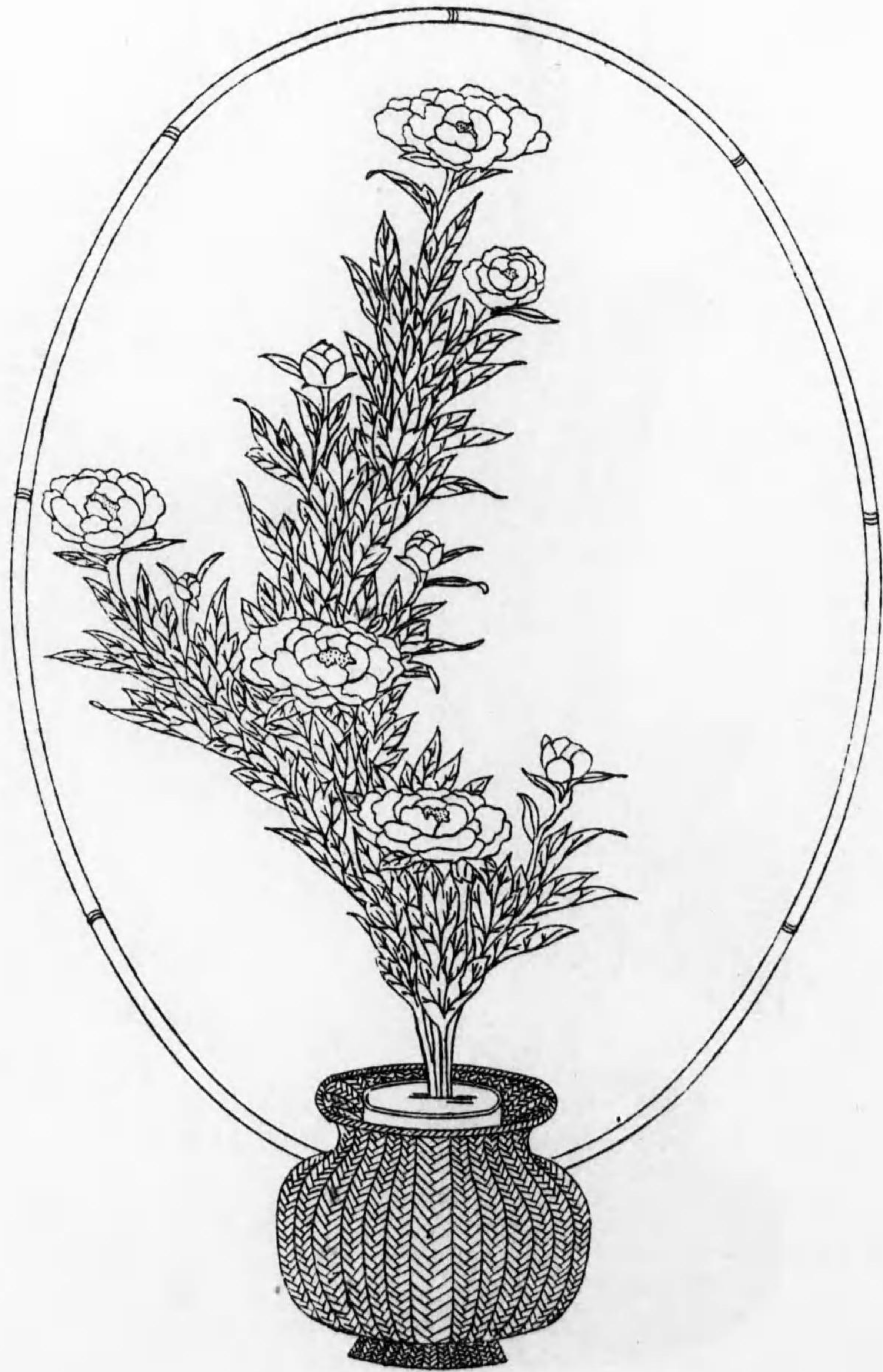
家元内
武藤松菴





家元内
武藤松菴





家元内
武藤松庵

女郎花
カルカヤ



家元内
武藤松菴



家元内
武藤松菴



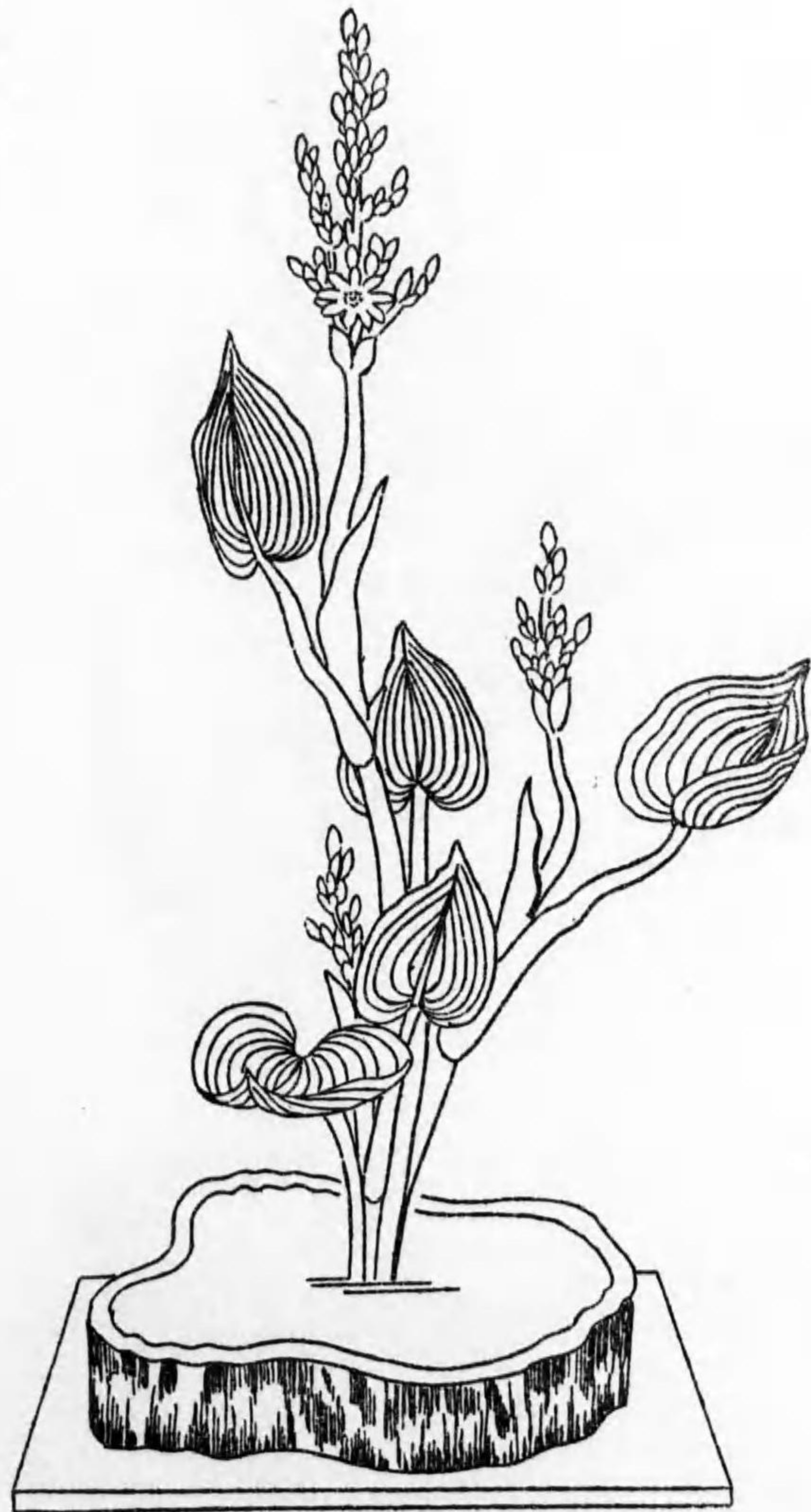
家元内
武藤松菴

ヲ
モ
ダ
カ

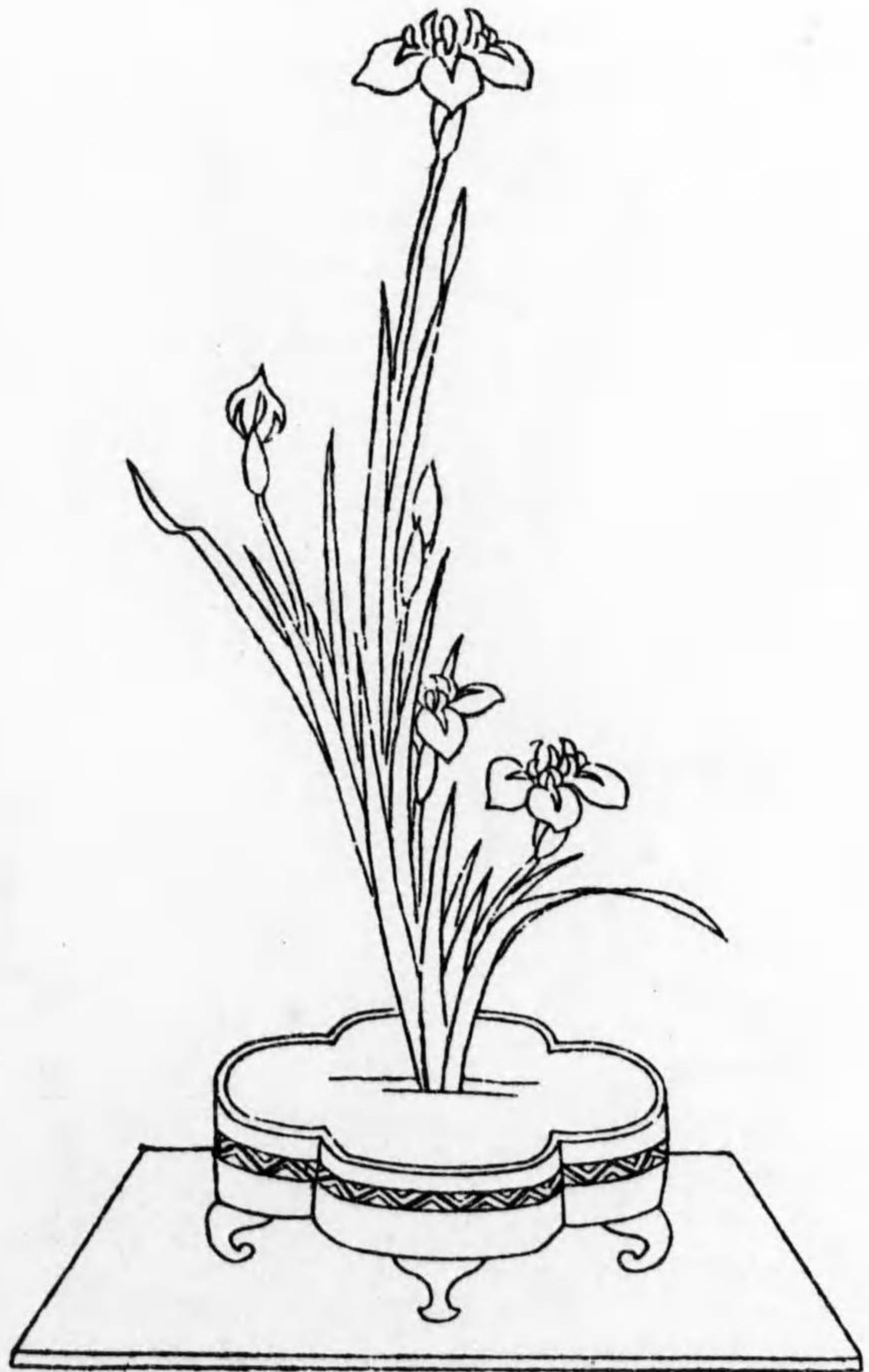


家元内
武藤松巷

小
ア
ヲ
イ



家元内
武藤松巷

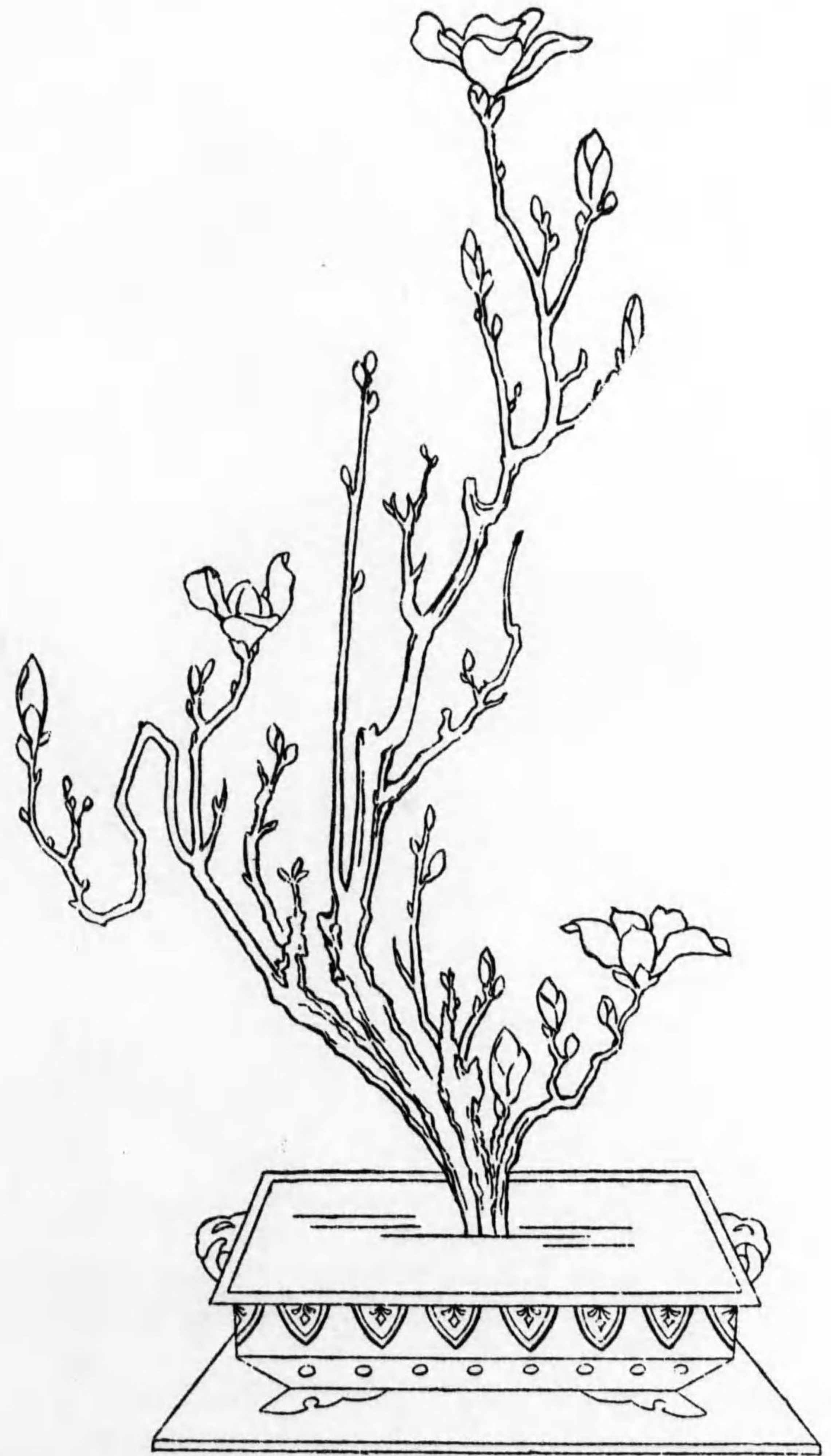
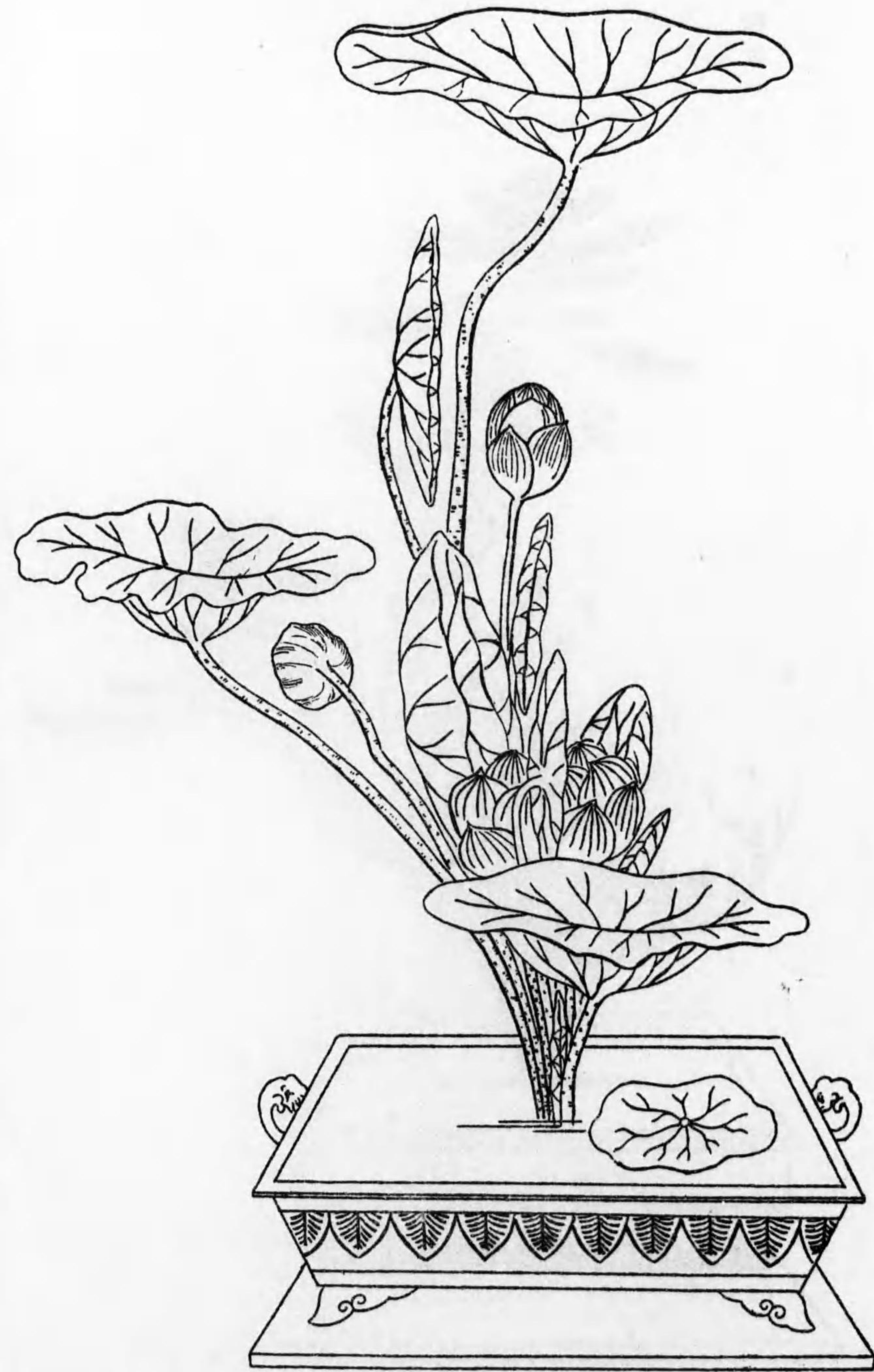




家元
武内
藤松
庵

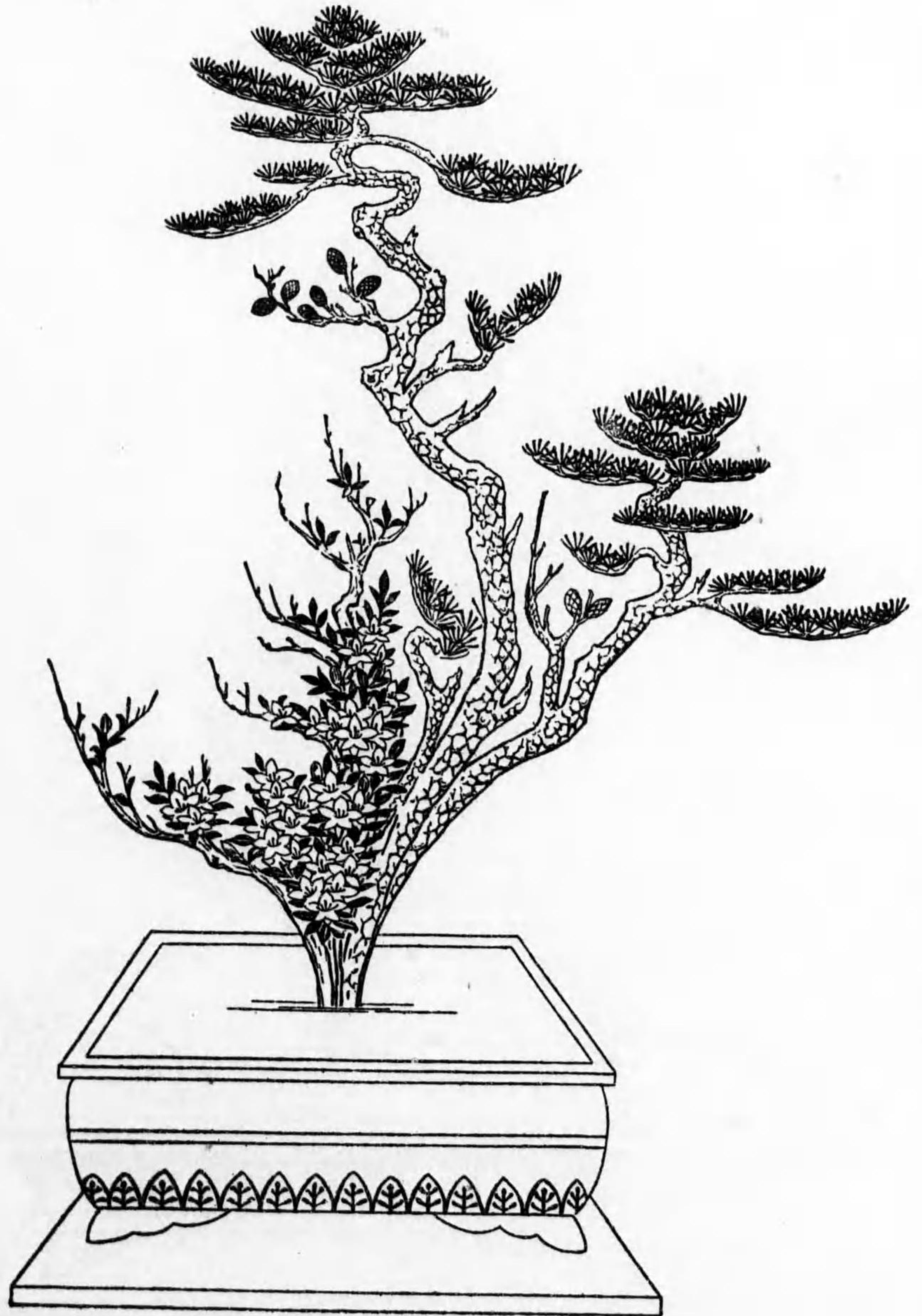


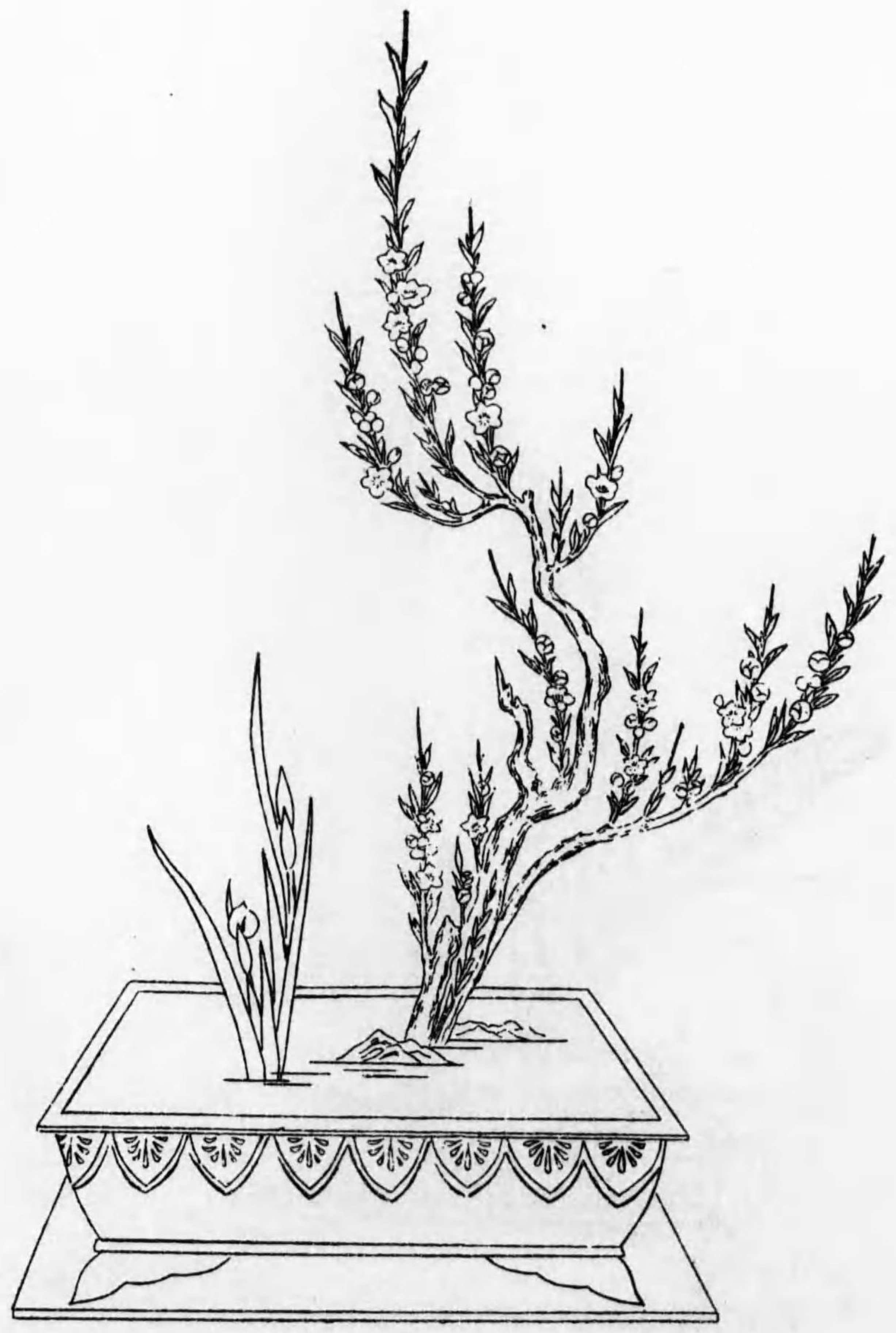
家元
武内
武藤
松
庵





松ニツ、ジ





花

家元御代花



花



家元内
武藤松菴

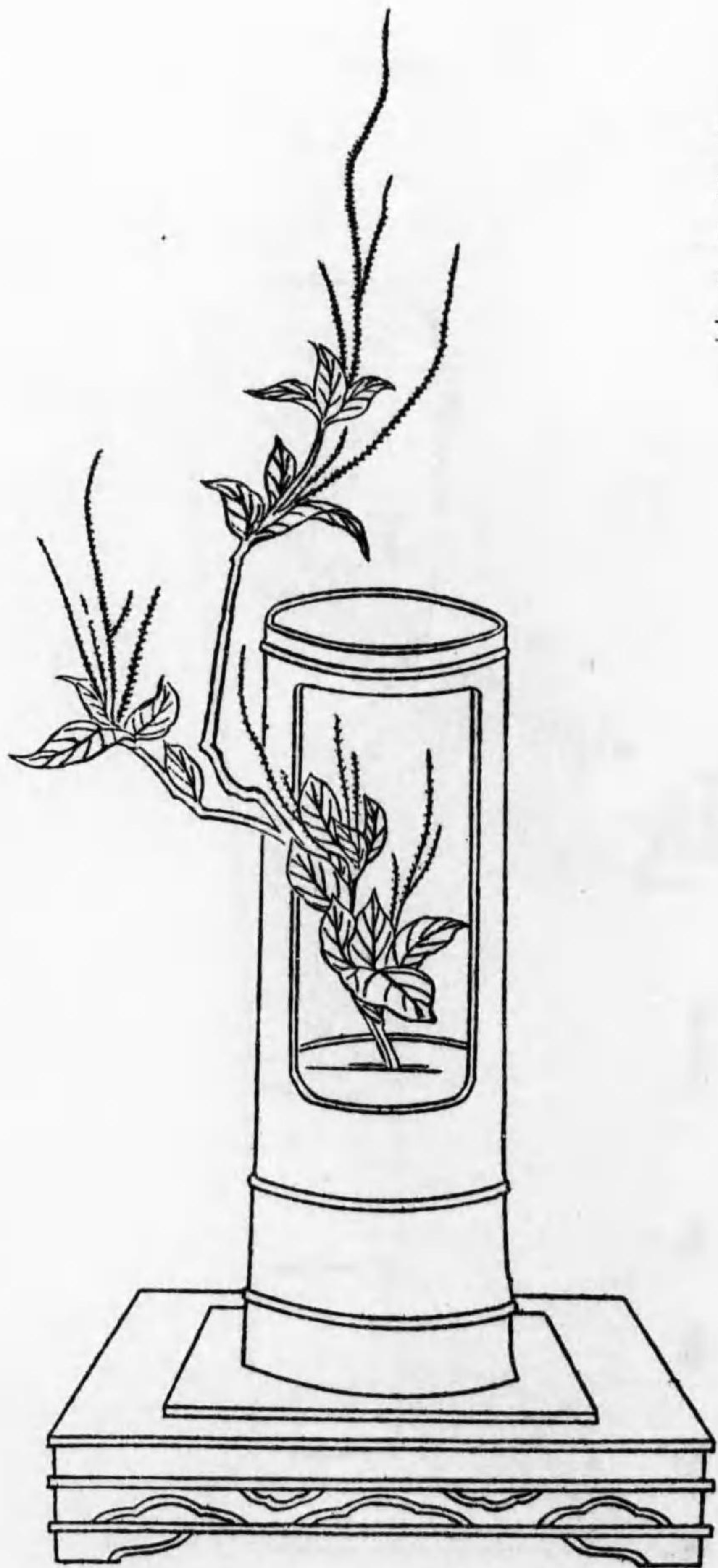
五七



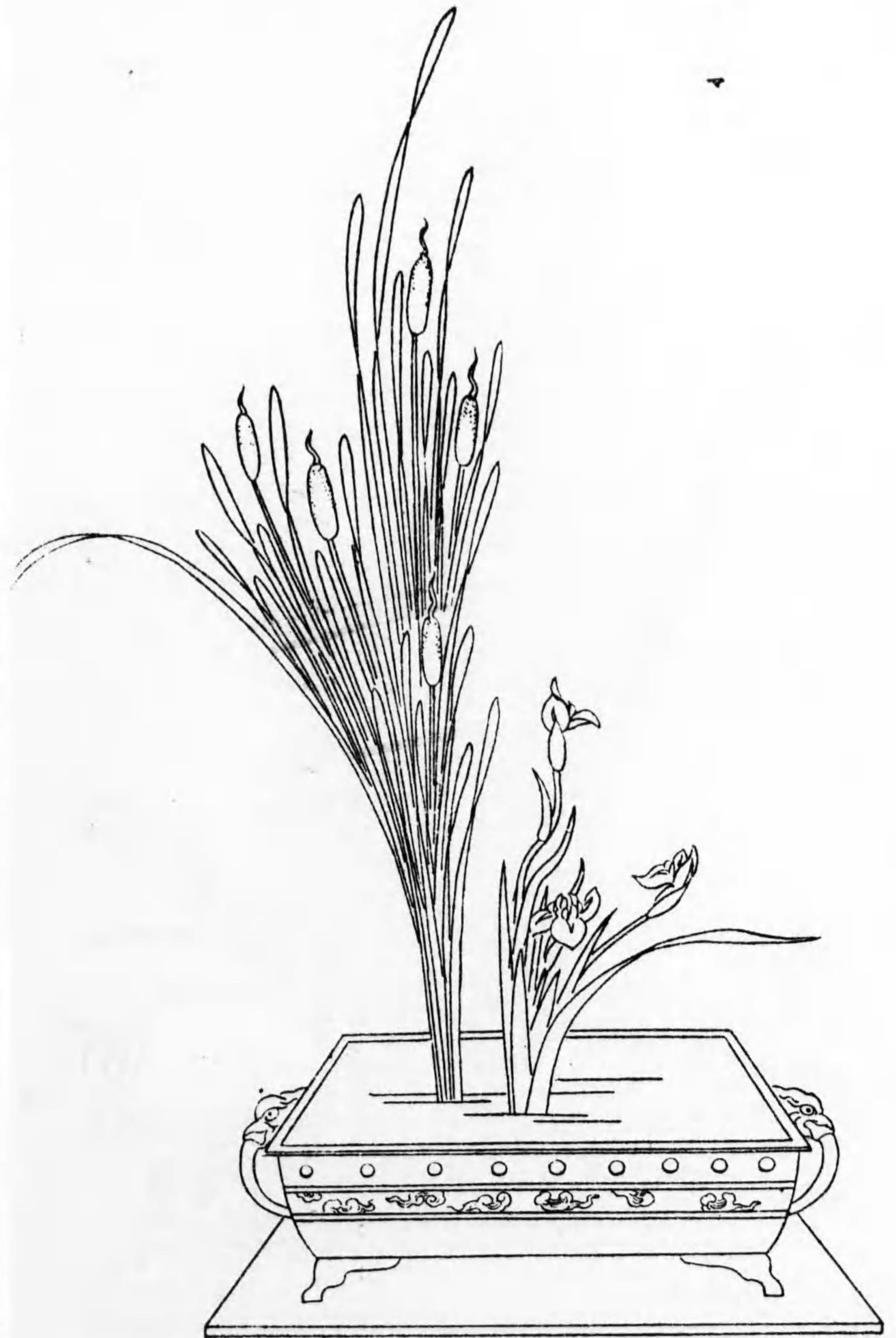
家元内
武藤松菴

五七

家元
御代花
ミヅヒキ草



ガ
マ





鉢
ツ
、
ジ

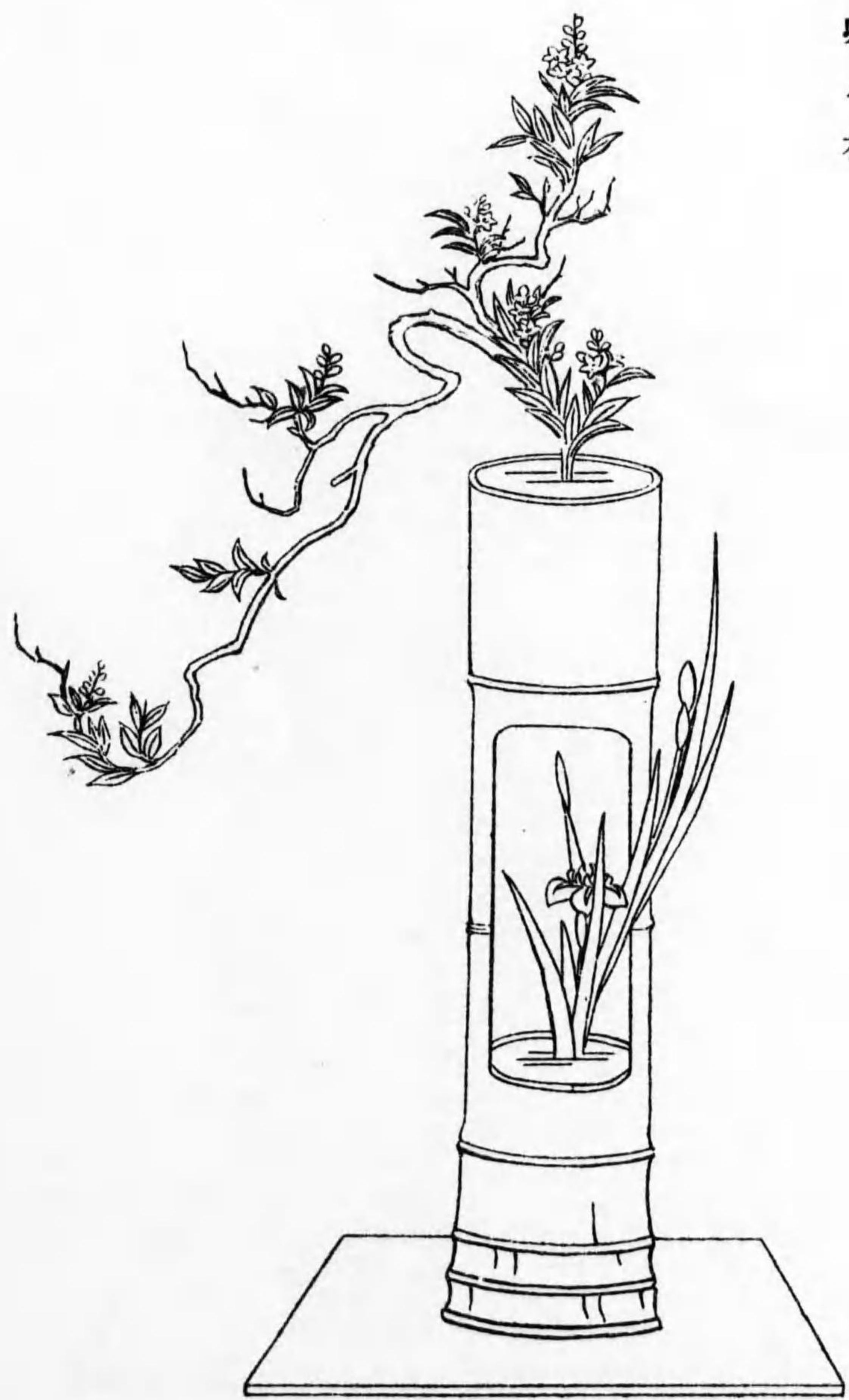


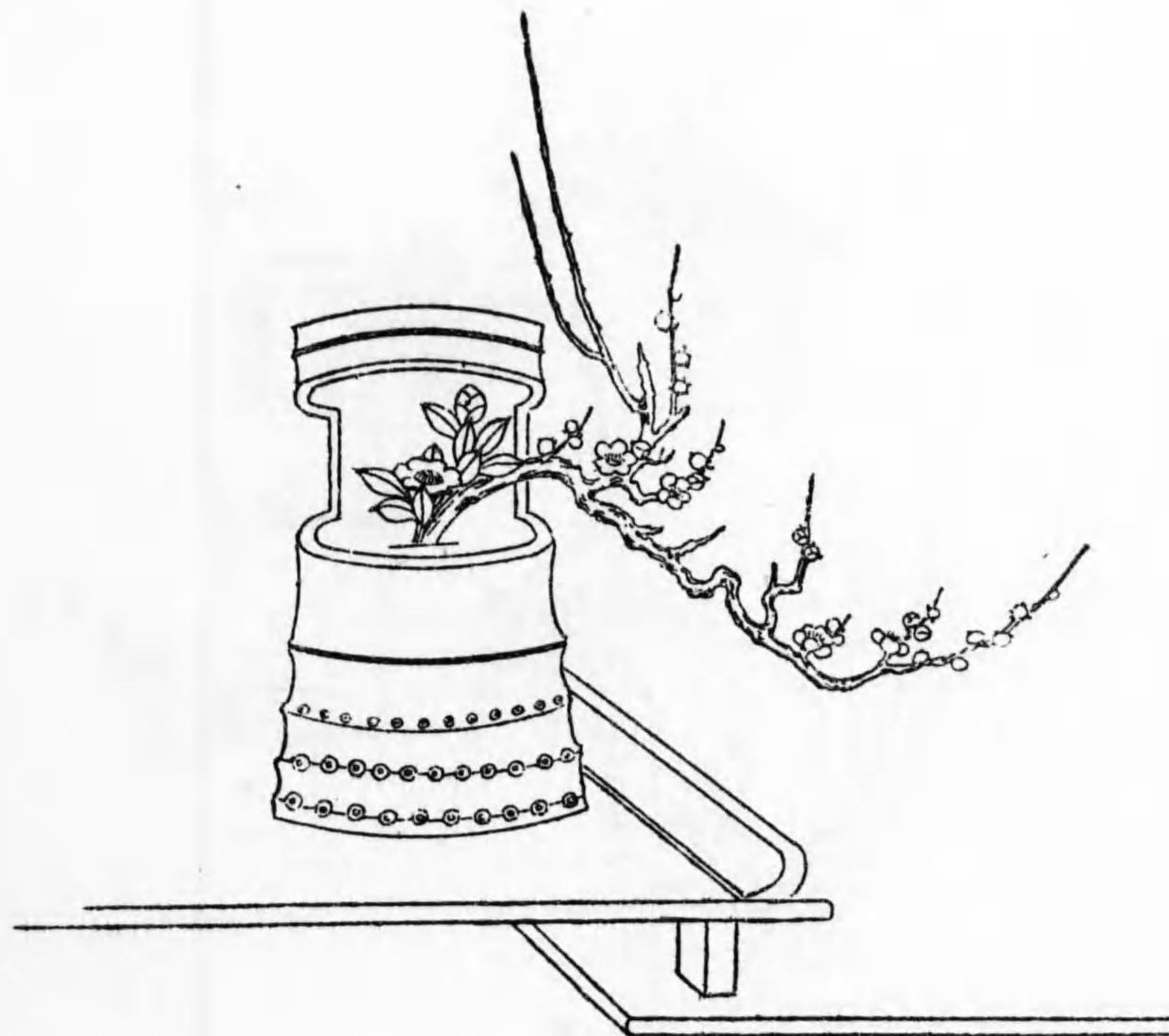
家元内
武
藤
松
巷



家元内
武藤松庵

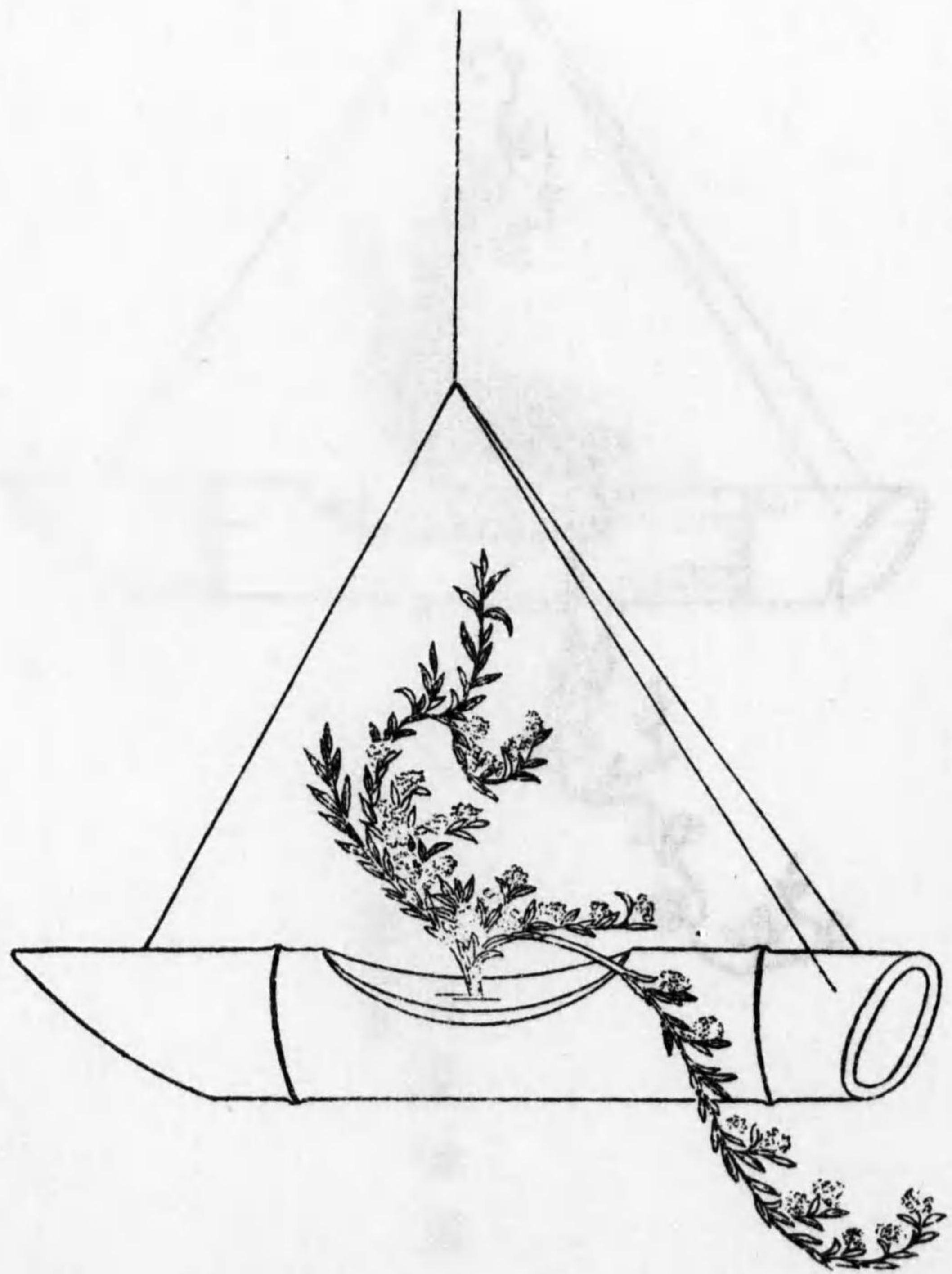
卯ノ花





家元内
武藤松庵

小手マツ



萩



家元内
武藤松卷

製複許不

昭和八年七月卅一日印刷
昭和八年八月十日發行

編輯者兼

華道家元 專正池坊

發行所

專正池坊華務課

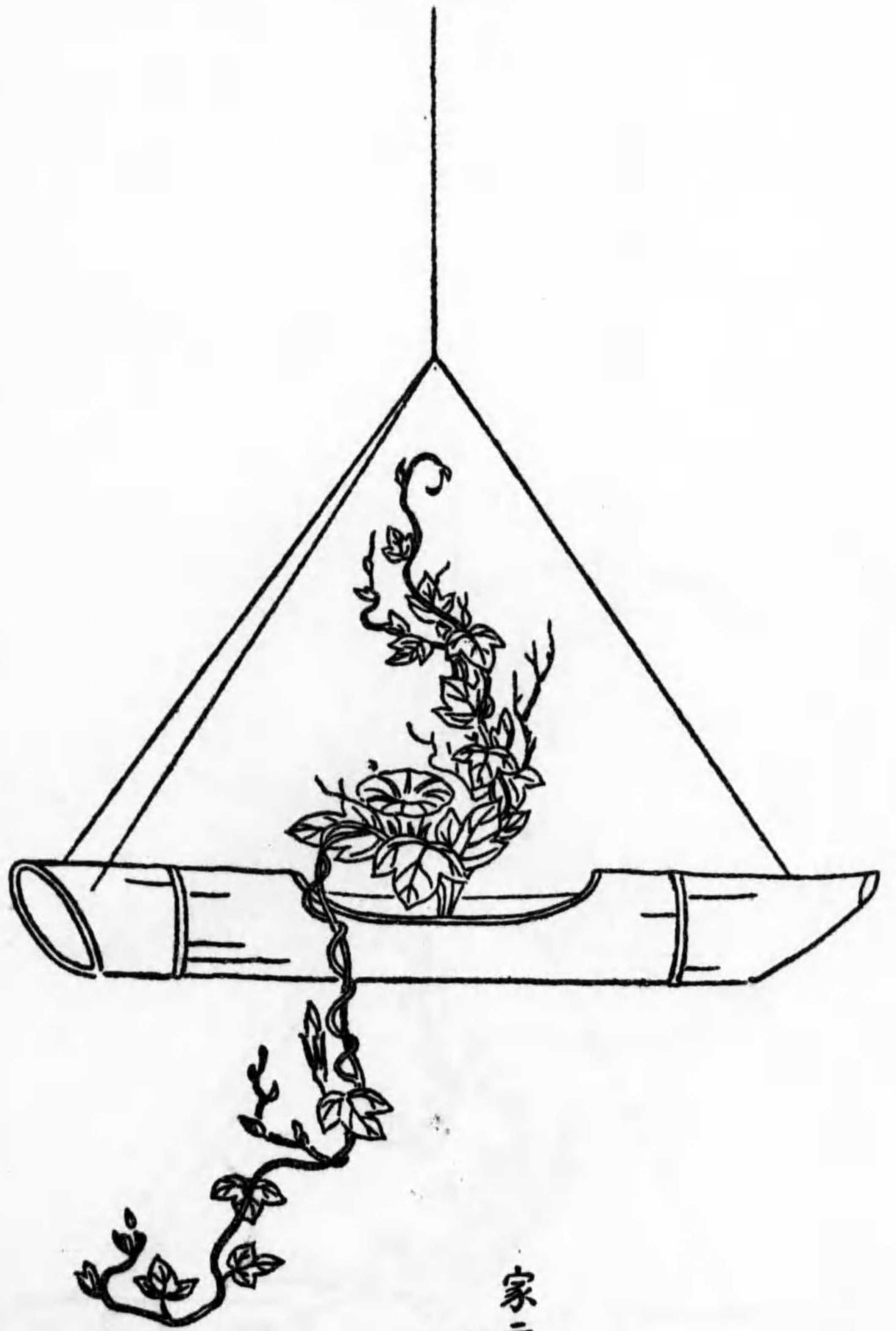
京都市左京區吉田上大路三丁目一

印刷所

弘文社

大阪市東區大手通二丁目

非賣品



家元内
武藤松菴

終